

同(渡辺肇君紹介)(第三三九六号)
同外三件(青木正久君紹介)(第三五六二号)
同(赤城宗徳君紹介)(第三五六三号)
同外一件(川野芳瀨君紹介)(第三五六四号)
同外二件(齋藤邦吉君紹介)(第三五六五号)
同外二件(竹内繁一君紹介)(第三五六六号)
同外九件(中垣國男君紹介)(第三五六七号)
同(野田武夫君紹介)(第三五六八号)
健康保険法及び船員保険法の臨時特例に関する
法律案反対に関する請願(下平正一君紹介)(第
三四二九号)
同(中澤茂一君紹介)(第三四三〇号)
同(原茂君紹介)(第三四三一号)
同(平澤文成君紹介)(第三四三二号)
同(小澤貞孝君紹介)(第三四三七九号)
同(河野正君紹介)(第三三八〇号)
同(和田耕作君紹介)(第三三八一号)
国民年金事務取扱交付金の増額に関する請願
(池田清志君紹介)(第三五一〇号)
医療保険制度改悪反対に関する請願(小澤貞孝
君紹介)(第三五九六号)
同(折小野良一君紹介)(第三五七〇号)
同(鈴木一君紹介)(第三五七一号)
同(曾根益君紹介)(第三五七二号)
同(門町亮君紹介)(第三五七三三三)
同外一件(和田耕作君紹介)(第三五七四号)
自閉症児の治療施設整備に関する請願(川野芳
瀨君紹介)(第三五八二二二)
戦後長期抑留者の処遇に関する請願(久保三郎
君紹介)(第三五八四四号)
同(省波茂君紹介)(第三五八五五号)
健康保険法改悪反対に関する請願(田中武夫君
紹介)(第三五八六六号)
失業保険法の改悪反対に関する請願(門町亮君
紹介)(第三五八七七号)
同月十五日
戦後長期抑留者の処遇に関する請願(白井莊一
君紹介)(第三三七九号)
同(小川半次君紹介)(第三三八〇二二)

同(久保田円次君紹介)(第三三八〇三三)
衛生検査技師法の一部改正に関する請願(金子
一平君紹介)(第三三八〇八号)
同(省波茂君紹介)(第三三八一八号)
同(村山喜一君紹介)(第三三八二二二)
同(田中龍夫君紹介)(第三三八一〇号)
各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外十
九件(上林山榮吉君紹介)(第三三八三三三)
同外二件(井出太郎君紹介)(第三三八四四四)
同(吉川久衛君紹介)(第三三八五五五)
同(澁谷直藏君紹介)(第三三八六六六)
同(田村良平君紹介)(第三三八六七七)
同(中馬辰猪君紹介)(第三三八八八八)
同外一件(羽田武嗣郎君紹介)(第三三八八九九)
同外一件(古井喜實君紹介)(第三三九〇〇)
同(渡辺美智雄君紹介)(第三三九一一一)
同外十件(赤澤正道君紹介)(第三三九二二)
同外一件(秋田大助君紹介)(第三三九三三)
同外十九件(荒松清十郎君紹介)(第三三九四四)
同(吉川久衛君紹介)(第三三九五五)
同(坂田英一君紹介)(第三三九六六)
同(田村良平君紹介)(第三三九七七)
同外十五件(谷川和穂君紹介)(第三三九八八)
同外七件(永山忠則君紹介)(第三三九九九)
同(長谷川駿君紹介)(第三四〇〇〇)
同外二件(福家俊一君紹介)(第三四〇一一)
同外一件(森田重次郎君紹介)(第三四〇二二)
日雇労働者健康保険の廃止反対等に関する請願
外二件(神近市子君紹介)(第三四〇三三)
同外二十八件(八木一男君紹介)(第三四〇四四)
同(福岡義登君紹介)(第三四〇五五)
健康保険制度改悪反対に関する請願外五件(川
村義義君紹介)(第三四〇六六)
同外百八十一件(八木一男君紹介)(第三四〇七七)
同外一件(山本政弘君紹介)(第三四〇八八)
同(石橋政嗣君紹介)(第三四〇九九)
同(稻村隆一君紹介)(第三四一〇〇)
同(江田三郎君紹介)(第三四一一一)

同外一件(加藤清二君紹介)(第三四一二二)
同(成田知巳君紹介)(第三四一三三)
同(勝間田清一君紹介)(第三四一四四)
同外一件(河野正君紹介)(第三四一五五)
同(神門至馬夫君紹介)(第三四一六六)
同(曾根益君紹介)(第三四一七七)
同(中澤茂一君紹介)(第三四一八八)
同(中谷鉄也君紹介)(第三四一九九)
同(安井吉典君紹介)(第三四二〇〇)
同外一件(柳田秀一君紹介)(第三四二一一)
同外一件(山口鶴男君紹介)(第三四二二二)
同(山田耻目君紹介)(第三四二三三)
医療保険制度改悪反対に関する請願(佐々木更
三君紹介)(第三四二四四)
同外一件(山本政弘君紹介)(第三四二五五)
同外三件(井岡大治君紹介)(第三四二六六)
同外二件(久保田鶴松君紹介)(第三四二七七)
同(阪上安太郎君紹介)(第三四二八八)
同外二件(中嶋英夫君紹介)(第三四二九九)
同(成田知巳君紹介)(第三四三〇〇)
同(平林剛君紹介)(第三四三一)
同(山内広君紹介)(第三四三二)
同外一件(米田東吾君紹介)(第三四三三)
失業保険、労災保険制度改悪反対等に関する請
願外二件(山本政弘君紹介)(第三四三四)
健康保険法改悪反対に関する請願(井岡大治君
紹介)(第三四三五)
同(佐野進君紹介)(第三四三六)
全国全産業一律最低賃金制確立等に関する請願
(久保三郎君紹介)(第三四三七)
同外一件(玉置一徳君紹介)(第三四三八)
一酸化炭素中毒患者に対する特別法制定に関す
る請願(神門至馬夫君紹介)(第三四三九)
全国全産業一律最低賃金制及び医療保障の確立
等に関する請願(神門至馬夫君紹介)(第三四四〇)
九号)
国有林労働者の労働条件改善に関する請願(森
義親君紹介)(第三四四一)

各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外二
件(青木正久君紹介)(第三四四二)
同外二件(小笠公昭君紹介)(第三四四三)
同(大野市郎君紹介)(第三四四四)
同外二件(奥野誠亮君紹介)(第三四四五)
同外一件(飯谷忠男君紹介)(第三四四六)
同外一件(倉成正君紹介)(第三四四七)
同外一件(千葉三郎君紹介)(第三四四八)
同(塚田徹君紹介)(第三四四九)
同外五件(塚原俊郎君紹介)(第三四五〇)
同外三件(辻寛一君紹介)(第三五五一)
同外六件(中垣國男君紹介)(第三五五二)
同外一件(丹羽久章君紹介)(第三五五三)
同外十九件(池田清志君紹介)(第三五五四)
同(大久保武雄君紹介)(第三五五五)
同外一件(大坪保雄君紹介)(第三五五六)
同(大野市郎君紹介)(第三五五七)
同外四件(鍛冶良作君紹介)(第三五五八)
同外一件(金子岩三君紹介)(第三五五九)
同外八件(久野忠治君紹介)(第三五六〇)
同外二件(小平久雄君紹介)(第三五六一一)
同外十一件(正力松太郎君紹介)(第三五六二)
同(田村良平君紹介)(第三五六三)
同(竹内繁一君紹介)(第三五六四)
同外十七件(増田甲子七君紹介)(第三五六五)
同(榎木庚子郎君紹介)(第三五六六)
ハンセン氏病患者に対する障害年金の支給要件
緩和等に関する請願(谷口善太郎君紹介)(第三
九三三三)
衛生検査技師法の一部改正に関する請願(赤路
友藏君紹介)(第三九三三三)
同(大柴滋夫君紹介)(第三九三三三)
同(岡本隆一君紹介)(第三九三三三)
同(金子一平君紹介)(第三九三三三)
同(齊藤正男君紹介)(第三九三三三)
同(永末英一君紹介)(第三九三三三)
同(柳田秀一君紹介)(第三九三三三)
同(玉置一徳君紹介)(第三九三三三)

健康保険制度改善に関する陳情書（愛知県議会
議長橋本繁蔵）（第四八八号）

九 農協及び生協の共同利用施設の理容事業規制に関する請願（小宮山重四郎君）

二九 同(春日一幸君紹介)(第三一〇号)

同(粟山秀君紹介)(第二七二号)

[illegible]

[illegible]

人

[illegible]

四三三	同外十四件(西風勲君紹介)(第一五八五号)	四四一	同(堀崎弥之助君紹介)(第一六三二二号)	四四八	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五五	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇三	同(大橋武夫君紹介)(第一六四六号)
四三四	同外三件(西風勲君紹介)(第一五九〇号)	四四二	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四四九	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇四	同(只松祐治君紹介)(第一五八一〇号)	五〇四	健康保険制度改善に関する請願(広沢賢一君紹介)(第一五九二二号)
四三五	同(井岡大治君紹介)(第一六二九号)	四四三	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇五	同(野間千代三君紹介)(第一五八二二二)	五〇五	同(麻生良方君紹介)(第一六五四号)
四三六	同(大柴滋夫君紹介)(第一六三〇号)	四四四	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇六	同外三十四件(高田富之君紹介)(第一五八九号)	五〇六	同(本島百合子君紹介)(第一六五五号)
四三七	同外五件(永江一夫君紹介)(第一六五八号)	四四五	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇七	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇七	原爆被害者援護法制定に関する請願(松本善明君紹介)(第一五九二二二)
四三八	同外五件(西風勲君紹介)(第一六五九号)	四四六	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇八	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇八	心臓病の専門病院増設に関する請願(本島百合子君紹介)(第一六五二二二)
四三九	療術の新規開業制度に関する請願(西風勲君紹介)(第一四九八号)	四四七	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇九	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五〇九	心臓病の子供の育成医療助成拡充に関する請願(本島百合子君紹介)(第一六五二二二)
四四〇	同(塚田徹君紹介)(第一五二五号)	四四八	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	心臓手術のため供血制度改善に関する請願(本島百合子君紹介)(第一六五三三三)
四四一	同(葉梨信行君紹介)(第一五二六号)	四四九	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四四二	同(山下榮二君紹介)(第一六六三三三)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四四三	失業保険、労災保険制度改悪反対等に関する請願(山田趾目君紹介)(第一四九九号)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四四四	同外二件(松前重義君紹介)(第一五八六号)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四四五	同(橋崎弥之助君紹介)(第一六三二二二)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四四六	児童福祉施設最低基準の改訂に関する請願(田村元君紹介)(第一五二七号)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四四七	厚生年金保険法の特例老齢年金制度改善に関する請願外四件(田村元君紹介)(第一五一八号)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四四八	同外四件(野呂恭一君紹介)(第一五一九号)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四四九	同外四件(森田重次郎君紹介)(第一五二〇号)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五〇	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外一件(世耕政隆君紹介)(第一五二二二二)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五一	同(古屋亨君紹介)(第一五二二三二)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五二	同(山手満男君紹介)(第一五二三三三)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五三	同(伊藤宗一郎君紹介)(第一五七三三三)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五四	同外五件(伊藤宗一郎君紹介)(第一六二二二二)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五五	同外一件(内海英男君紹介)(第一六二二二二)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五六	同(大石武一君紹介)(第一六二二三二)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五七	同(世耕政隆君紹介)(第一六二三三三)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五八	同(田中榮一君紹介)(第一六二四四四)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(本島百合子君紹介)(第一六六二二二)
四五九	同外一件(野田武夫君紹介)(第一六二五五五)	四五〇	同(大野市郎君紹介)(第一六九三三三)	四五〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同(島本虎三君紹介)(第一五八〇号)	五一〇	同

五二二	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願(稻村左近四郎君紹介)(第一七三四号)	五四七	同外一件(森田重次郎君紹介)(第一八六九号)	五七三	同(太田一夫君紹介)(第一七八六号)	六〇五	同(田邊誠君紹介)(第一七五九号)
五二三	同外二十件(大久保武雄君紹介)(第一七三五号)	五四八	同(森山欽司君紹介)(第一八七〇号)	五七四	同(岡本隆一君紹介)(第一七八七号)	六〇六	同(平林剛君紹介)(第一七六〇号)
五二四	同(大竹太郎君紹介)(第一七三六号)	五四九	同外二件(愛知揆一君紹介)(第一九〇八号)	五七五	同(神近市子君紹介)(第一七八八号)	六〇七	同外三件(八木一男君紹介)(第一七六一号)
五二五	同外五件(大坪保雄君紹介)(第一七三七号)	五五〇	同(内海英男君紹介)(第一九〇九号)	五七六	同(唐橋東君紹介)(第一七八九号)	六〇八	同外一件(八木一男君紹介)(第一八〇二号)
五二六	同(大野市郎君紹介)(第一七三八号)	五五一	同外十九件(大坪保雄君紹介)(第一九一〇号)	五七七	同(川村義義君紹介)(第一七九〇号)	六〇九	同(井上善方君紹介)(第一八二三号)
五二七	同(金子一平君紹介)(第一七三九号)	五五二	同外四件(大橋武夫君紹介)(第一九一一号)	五七八	同(佐々栄三郎君紹介)(第一七九一号)	六一〇	同(佐々栄三郎君紹介)(第一八二四号)
五二八	同(上林山榮吉君紹介)(第一七四〇号)	五五三	同(熊谷義雄君紹介)(第一九一二号)	五八〇	同(高田富之君紹介)(第一七九三三号)	六一一	同(島本虎三君紹介)(第一八二五号)
五二九	同外二件(小平久雄君紹介)(第一七四一号)	五五四	同外五件(櫻内義雄君紹介)(第一九一三三号)	五八一	同(中井徳次郎君紹介)(第一七九四号)	六一二	同外二件(八木一男君紹介)(第一八二六号)
五三〇	同(河野洋平君紹介)(第一七四二号)	五五五	同外二件(野田武夫君紹介)(第一九一四号)	五八二	同(浜田光人君紹介)(第一七九五号)	六一三	同(田代文久君紹介)(第一九三八号)
五三一	同(坂田道太君紹介)(第一七四三三三)	五五六	同(山手満男君紹介)(第一九一五号)	五八三	同(山本政弘君紹介)(第一七九八号)	六一四	同外二件(松本善明君紹介)(第一九三九号)
五三二	同(坂本三十次君紹介)(第一七四四号)	五五七	同外六件(吉田重延君紹介)(第一九一六号)	五八四	同(山口鶴男君紹介)(第一七九七号)	六一五	同(金丸徳重君紹介)(第一七六二二二)
五三三	同外二件(野田武夫君紹介)(第一七四五号)	五五八	医療保険制度改悪反対に関する請願外七十六件(阿部助哉君紹介)(第一七四八号)	五八五	同(山本幸一君紹介)(第一七九八号)	六一六	同(金丸徳重君紹介)(第一七六二二二)
五三四	同外二件(船田中君紹介)(第一七四六号)	五五九	同(小川三男君紹介)(第一七四九号)	五八六	同(米田東吾君紹介)(第一八〇〇号)	六一七	同(広瀬秀吉君紹介)(第一七八〇号)
五三五	同外三件(森山欽司君紹介)(第一七四七号)	五六〇	同外二件(河野正君紹介)(第一七五〇号)	五八七	同(八木一男君紹介)(第一八〇一四号)	六一八	同(広沢賢一君紹介)(第一七六四号)
五三六	同外六件(伊藤宗一郎君紹介)(第一七八八号)	五六一	同外二件(佐々木更三君紹介)(第一七五一号)	五八八	同(石橋政嗣君紹介)(第一八一四号)	六一九	同(山本政弘君紹介)(第一七六五号)
五三七	同(稻村左近四郎君紹介)(第一八五九号)	五六二	同(田邊誠君紹介)(第一七五二二二)	五八九	同(板川正吾君紹介)(第一八一五号)	六二〇	同(木原実君紹介)(第一八二七号)
五三八	同外十二件(大坪保雄君紹介)(第一八六〇号)	五六三	同(中嶋英夫君紹介)(第一七五三三三)	五九〇	同(稻村隆一君紹介)(第一八一六号)	六二一	同(田代文久君紹介)(第一九四三三三)
五三九	同(北澤直吉君紹介)(第一八六一号)	五六四	同外二件(成田知巳君紹介)(第一七五四四号)	五九一	同(河野正君紹介)(第一八一七号)	六二二	健康保険制度改善に関する請願(加藤万吉君紹介)(第一七六六号)
五四〇	同(坂田英一君紹介)(第一八六二二二)	五六五	同(畑和君紹介)(第一七五五五五)	五九二	同(栗林三郎君紹介)(第一八一八号)	六二三	同外一件(松前重義君紹介)(第一九四六号)
五四一	同(世耕政隆君紹介)(第一八六三三三)	五六六	同(平林剛君紹介)(第一七五六六六)	五九三	同(東海林稔君紹介)(第一八一九号)	六二四	同(谷口善太郎君紹介)(第一九四七号)
五四二	同(谷垣専一君紹介)(第一八六四四四)	五六七	同外九件(松本七郎君紹介)(第一七五七七号)	五九四	同(森本靖君紹介)(第一八二二二二)	六二五	健康保険法改悪反対に関する請願(古川喜一君紹介)(第一八二九号)
五四三	同(渡海元三郎君紹介)(第一八六五五五)	五六八	同(阿部助哉君紹介)(第一七八一八号)	五九五	同(横山利秋君紹介)(第一八二三三三)	六二六	同(谷口善太郎君紹介)(第一九四五五五)
五四四	同外六件(原健三郎君紹介)(第一八六六六号)	五六九	同(淡谷悠蔵君紹介)(第一七八二二二)	五九六	同(田代文久君紹介)(第一九三三三三)	六二七	失業保険、労災保険制度改悪反対等に関する請願(古川喜一君紹介)(第一八三〇号)
五四五	同外四件(羽田武嗣郎君紹介)(第一八六七七号)	五七〇	同(井手以誠君紹介)(第一七八三三三)	五九七	同(森本靖君紹介)(第一八二二二二)	六二八	同(原水爆被害者援護法制定等に関する請願外一件(谷口善太郎君紹介)(第一九三三三三)
五四六	同外二件(保利茂君紹介)(第一八六八八号)	五七一	同(石川次夫君紹介)(第一七八四四四)	五九八	同(田代文久君紹介)(第一九三三三三)		

六二九	四〇号)	六五三	田耕作君紹介(第二〇二二一)	六七二	同外二件(大竹太郎君紹介)(第二二四六号)	六九四	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外七件(愛知一君紹介)(第二二四六号)
六三〇	季節労働者に対する失業保険の改悪反対に関する請願(林百郎君紹介)(第一九四一)	六五四	医療保険制度改悪反対に関する請願(只松祐治君紹介)(第二〇二二二)	六七三	同外一件(大坪保雄君紹介)(第二二四七号)	六九五	同(池田清志君紹介)(第二二四七号)
六三一	精神衛生思想の普及等に関する請願(松本善明君紹介)(第一九四二)	六五五	同(中嶋英夫君紹介)(第二〇二三三)	六七四	同(大野市郎君紹介)(第二二四八号)	六九六	同外一件(稻村左近四郎君紹介)(第二二四八号)
六三二	国立病院、療養所の医師等増員に関する請願(谷口善太郎君紹介)(第一九四四)	六五六	同外一件(野間千代三君紹介)(第二〇二四四)	六七五	同(金丸信君紹介)(第二二四九号)	六九七	同外一件(宇野宗佑君紹介)(第二二四九号)
六三三	授産事業法制定に関する請願(上村千一郎君紹介)(第一九四七号)	六五七	同外三件(八木一男君紹介)(第二〇二五五)	六七六	同外十四件(嶋田宗一君紹介)(第二二五〇号)	六九八	同外一件(内田常雄君紹介)(第二二五〇号)
六三四	国民年金法の一部改正に関する請願(谷口善太郎君紹介)(第一九四八号)	六五八	同(中嶋英夫君紹介)(第二二二六六)	六七七	同外一件(久保田藤磨君紹介)(第二二五一)	六九九	同外二件(大坪保雄君紹介)(第二二五一)
六三五	全国一律最低賃金制の確立に関する請願(林百郎君紹介)(第二〇〇六六)	六五九	同(山本政弘君紹介)(第二二二七七)	六七八	同外十件(河本敏夫君紹介)(第二二五二)	七〇〇	同(坂田英一君紹介)(第二二五二)
六三六	全国全産業一律最低賃金制確立等に関する請願外一件(阿部昭吾君紹介)(第二〇〇八八)	六六〇	健康保険法改悪反対に関する請願(永末英一君紹介)(第二〇二七七)	六七九	同(進藤一馬君紹介)(第二二五三)	七〇一	同外二件(坂本三十次君紹介)(第二二五三)
六三七	同(黒田壽男君紹介)(第二〇〇九九)	六六一	療術の新規開業制度に関する請願(池田正之輔君紹介)(第二二二九)	六八〇	同(世耕政隆君紹介)(第二二五四)	七〇二	同外十九件(田中龍夫君紹介)(第二二五四)
六三八	同(島本虎三君紹介)(第二〇一〇〇)	六六二	衛生検査技師法の一部改正に関する請願(高見三郎君紹介)(第二二二九)	六八一	同(谷垣專一君紹介)(第二二五五)	七〇三	同(高橋清一郎君紹介)(第二二五五)
六三九	健康保険制度改悪反対に関する請願(井岡大治君紹介)(第二〇一一二)	六六三	日雇労働者健康保険の廃止反対等に関する請願(福岡義登君紹介)(第二二三一)	六八二	同外二件(塚田徹君紹介)(第二二五六)	七〇四	同(竹下登君紹介)(第二二五六)
六四〇	同(神門至馬夫君紹介)(第二〇一三三)	六六四	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外六件(青木正久君紹介)(第二二三八)	六八三	同外十二件(羽田武嗣郎君紹介)(第二二五七)	七〇五	同外二件(増田甲子七君紹介)(第二二五七)
六四一	同外七件(永江一夫君紹介)(第二〇一四四)	六六五	同外三十五件(荒松清十郎君紹介)(第二二三九)	六八四	同外六件(橋本登美三郎君紹介)(第二二五八)	七〇六	同(松野頼三君紹介)(第二二五八)
六四二	同(平林剛君紹介)(第二〇一五五)	六六六	同外十六件(有田喜一君紹介)(第二二四〇)	六八五	同(早川崇君紹介)(第二二五九)	七〇七	同外三件(三ッ林弥太郎君紹介)(第二二五九)
六四三	同(門司亮君紹介)(第二〇一六六)	六六七	同外七件(伊藤宗一郎君紹介)(第二二四一)	六八六	同(藤山愛一郎君紹介)(第二二六〇)	七〇八	同(森山欽司君紹介)(第二二六〇)
六四四	同(本島百合子君紹介)(第二〇一七七)	六六八	同外四件(内田常雄君紹介)(第二二四二)	六八七	同外十件(船田中君紹介)(第二二六一)	七〇九	同外一件(青木正久君紹介)(第二二三三)
六四五	同外十件(山下榮二君紹介)(第二〇一八八)	六六九	同外二件(内海英男君紹介)(第二二四三)	六八八	同外五件(細田吉蔵君紹介)(第二二六二)	七一〇	同(秋田大助君紹介)(第二二三三)
六四六	同(麻生良方君紹介)(第二〇一九九)	六七〇	同外一件(小笠公昭君紹介)(第二二四四)	六八九	同(松澤雄蔵君紹介)(第二二六三)	七一一	同(大竹太郎君紹介)(第二二三三)
六四七	同(和田耕作君紹介)(第二〇二〇〇)	六七一	同外十三件(小川平二君紹介)(第二二四四)	六九〇	同外四件(森田重次郎君紹介)(第二二六四)	七一二	同外三十六件(加藤常太郎君紹介)(第二二三三)
六四八	同外三件(阿部昭吾君紹介)(第二二三二)	六四九	同(井岡大治君紹介)(第二二三三)	六九一	同外一件(渡辺肇君紹介)(第二二六五)	七二三	同外十六件(亀山孝一君紹介)(第二二三三)
六五〇	同(大出俊君紹介)(第二二三四)	六五〇	同(大出俊君紹介)(第二二三四)	六九二	戦傷病者等の妻に対する特別給付金の不均衡是正に関する請願(細田吉蔵君紹介)(第二二六六)	七二四	同外二件(川野芳満君紹介)(第二二三三)
六五一	同(中嶋英夫君紹介)(第二二三五)	六五一	同(中嶋英夫君紹介)(第二二三五)	六九三	戦没者等の妻に対する特別給付金の不均衡是正に関する請願(細田吉蔵君紹介)(第二二六七)	七二五	同外一件(草野一郎平君紹介)(第二二三三)
六五二	健康保険法及び船員保険法の臨時特例	六五二	健康保険法及び船員保険法の臨時特例			七二六	同(丹羽雲四郎君紹介)(第二二三三)
						七二七	同外六件(三池信君紹介)(第二二三三)

八二七	同外二件(小川平二君紹介)(第二六七七号)	八四四	ソ連長期抑留者の補償に関する請願(堀昌雄君紹介)(第二五四八号)	八六五	戦傷病者に対する傷病恩給等を生活保護法の収入対象より除外に関する請願(關谷勝利君紹介)(第二六九九号)	八九〇	同千葉佳男君紹介(第二七二五号)
八二八	同外三件(大石武一君紹介)(第二六七八号)	八四五	日雇労働者健康保険の廃止反対等に関する請願外一件(小川三男君紹介)(第二五四九号)	八六六	戦傷病者等の妻に対する特別給付金の不均衡是正に関する請願外一件(關谷勝利君紹介)(第二七〇三号)	八九一	同内藤良平君紹介(第二七二六号)
八二九	同(金子一平君紹介)(第二六八〇号)	八四六	同(中澤茂一君紹介)(第二五五〇号)	八六七	戦没者等の妻に対する特別給付金の不均衡是正に関する請願(關谷勝利君紹介)(第二七〇四号)	八九二	同野間千代三君紹介(第二七二七号)
八三〇	同(北澤直吉君紹介)(第二六八一号)	八四七	同(中嶋英夫君紹介)(第二五五一号)	八六八	日雇労働者健康保険の廃止反対等に関する請願(太田一夫君紹介)(第二七〇六号)	八九三	同外三件(華山親義君紹介)(第二七二八号)
八三一	同(世耕政隆君紹介)(第二六八二号)	八四八	同(高田富之君紹介)(第二五五二号)	八六九	同(北山愛郎君紹介)(第二七〇七号)	八九四	同(神門至馬夫君紹介)(第二八二六号)
八三二	同外二件(田村元君紹介)(第二六八三号)	八四九	同外二十三件(華山親義君紹介)(第二五五三三三)	八七〇	同(神門至馬夫君紹介)(第二七〇八号)	八九五	同(中嶋英夫君紹介)(第二八二七号)
八三三	同(高橋清一郎君紹介)(第二六八四号)	八五〇	同(山本政弘君紹介)(第二五五四号)	八七一	同(東海林稔君紹介)(第二七〇九号)	八九六	同外七件(佐藤觀次郎君紹介)(第二八七三三三)
八三四	同(竹内繁一君紹介)(第二六八五号)	八五一	同外二件(小澤貞孝君紹介)(第二六〇五号)	八七二	同(田中武夫君紹介)(第二七一〇号)	八九七	同(島本虎三君紹介)(第二八七四号)
八三五	同外一件(野田卯一君紹介)(第二六八六号)	八五二	同外一件(太田一夫君紹介)(第二六〇六号)	八七三	同(田中武夫君紹介)(第二七一〇号)	八九八	同(島本虎三君紹介)(第二八七四号)
八三六	同外十一件(増田甲子七君紹介)(第二六八七号)	八五三	同外八件(木原実君紹介)(第二六〇七号)	八七四	同(只松祐治君紹介)(第二七一一号)	八九九	同(内藤良平君紹介)(第二七三〇号)
八三七	同外二件(栗山秀君紹介)(第二六八八号)	八五四	同(神門至馬夫君紹介)(第二六〇八号)	八七五	同(千葉佳男君紹介)(第二七一二号)	九〇〇	医療保険制度改悪反対に関する請願(千葉佳男君紹介)(第二七三二二二)
八三八	同(森山欽司君紹介)(第二六八九号)	八五五	同(島上善五郎君紹介)(第二六〇九号)	八七六	同外一件(野間千代三君紹介)(第二七一三三三)	九〇一	同(野間千代三君紹介)(第二七三三三三)
八三九	健康保険法及び船員保険法の臨時特例に関する法律案反対に関する請願(大柴滋夫君紹介)(第二五四二二二)	八五六	同外四十九件(塚本三郎君紹介)(第二六一〇一〇号)	八七七	同(山花秀雄君紹介)(第二七二四四四)	九〇二	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外四件(青木正久君紹介)(第二七三三三三)
八四〇	療術の新規開業制度に関する請願(佐藤洋之助君紹介)(第二五四三三三)	八五七	同(中嶋英夫君紹介)(第二六一一〇一)	八七八	同(田邊誠君紹介)(第二八七五五五)	九〇三	同伊藤宗一郎君紹介(第二七三四四四)
八四一	同(笹山茂太郎君紹介)(第二六六九号)	八五八	同外三件(長谷川正三君紹介)(第二六一二二二)	八七九	同(田邊誠君紹介)(第二八七五五五)	九〇四	同岡本茂君紹介(第二七三三三三)
八四二	同(佐々木義武君紹介)(第二六七〇号)	八五九	同(原茂君紹介)(第二六一三三三)	八八〇	同(藤良平君紹介)(第二七一六六六)	九〇五	同(大坪保雄君紹介)(第二七三三三三)
八四三	同(塩川正十郎君紹介)(第二六七一一一)	八六〇	同(平林剛君紹介)(第二六一四四四)	八八一	同(内藤良平君紹介)(第二七一七七七)	九〇六	同外一件(飯谷忠男君紹介)(第二七三七三三)
八四四	同(根本龍太郎君紹介)(第二六七二二二)	八六一	同外三件(山口鶴男君紹介)(第二六一五五五)	八八二	同(野間千代三君紹介)(第二七一八八八)	九〇七	同(倉石忠雄君紹介)(第二七三八八八)
八四五	同(松田竹千代君紹介)(第二六七三三三)	八六二	日雇労働者健康保険の改悪反対等に関する請願(神門至馬夫君紹介)(第二六一六六六)	八八三	同(野間千代三君紹介)(第二七一九九九)	九〇八	同外一件(小山長規君紹介)(第二七三九九九)
八四六	同(和爾俊二君紹介)(第二六七四四四)	八六三	引揚医師の免許及び試験の特例に関する請願(本島百合子君紹介)(第二六一七七七)	八八四	同(福岡義登君紹介)(第二七二〇〇〇)	九〇九	同(谷垣專一君紹介)(第二七四〇〇〇)
八四七	同(渡海元三郎君紹介)(第二五四五五五)	八六四	農協及び生協の共同利用施設の環境衛生関係営業規制に関する請願(森田重次郎君紹介)(第二六九〇〇〇)	八八五	同(山内広君紹介)(第二七二一一一)	九一〇	同(藤本孝雄君紹介)(第二七四一一一)
八四八	同(床次徳二君紹介)(第二五四六六六)			八八六	同(角屋堅次郎君紹介)(第二八二二二二)	九一一	同外一件(増田甲子七君紹介)(第二七四二二二)
八四九	同(増田甲子七君紹介)(第二五四七七八)			八八七	健康保険制度改悪反対に関する請願(加藤勲十君紹介)(第二七二二二二)	九一二	同外十件(三ッ林弥太郎君紹介)(第二七四三三三)
八五〇	同(羽田武嗣郎君紹介)(第二五四七七八)			八八八	同外二件(佐藤觀次郎君紹介)(第二七二二二二)	九一三	同外四件(渡辺美智雄君紹介)(第二七四四四四)
八五一	同(福家俊一君紹介)(第二六六七七七)			八八九	同外一件(東海林稔君紹介)(第二七二二二二)	九一四	同(大野市郎君紹介)(第二八一一八八)
						九一五	同外三件(瀬戸山三男君紹介)(第二八一一八八)

九二六	同外七件(中垣國男君紹介)(第二八二〇号)	九三九	八三三号) あんま師等の社会保険施設に関する請願(池田清志君紹介)(第二七八四号)	九六〇	失業保険、労災保険制度改悪反対等に関する請願(山田趾目君紹介)(第二九三八号)	九八四	(森義親君紹介)(第三〇二二号) 同外四件(八木一男君紹介)(第三〇二三号)
九二七	同外八件(中山榮一君紹介)(第二八二一号)	九四〇	社会福祉事業法等の一部改正に関する請願(大久保武雄君紹介)(第二八二八号)	九六一	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外二十一件(池田清志君紹介)(第二九三九号)	九八五	同(近江已記夫君紹介)(第三〇六五号)
九二八	同(早川崇君紹介)(第二八二二号)	九四一	衛生検査技師法の一部改正に関する請願外一件(八田貞義君紹介)(第二八七六号)	九六二	同(稻村左近四郎君紹介)(第二九四〇号)	九八六	同(沖本泰幸君紹介)(第三〇六六号)
九二九	同(小淵恵三君紹介)(第二八六〇号)	九四二	季節労働者に対する失業保険の改悪反対に関する請願外一件(横山利秋君紹介)(第二八七七号)	九六三	同外一件(宇野宗佑君紹介)(第二九四一號)	九八七	同(北側義一君紹介)(第三〇六七号)
九三〇	同(大竹太郎君紹介)(第二八六一号)	九四三	全国全産業一律最低賃金制確立等に関する請願(太田一夫君紹介)(第二九三二號)	九六四	同(大坪保雄君紹介)(第二九四二号)	九八八	同(鈴木康雄君紹介)(第三〇六八号)
九三一	同(吉川久衛君紹介)(第二八六二号)	九四四	同(井上普方君紹介)(第三〇五八号)	九六五	同(金九信君紹介)(第二九四三号)	九八九	同(中野明君紹介)(第三〇六九号)
九三二	同(黒金泰美君紹介)(第二八六三号)	九四五	同(黒田壽男君紹介)(第三〇五九号)	九六六	同(坂本三十次君紹介)(第二九四四号)	九九〇	同(野間千代三君紹介)(第三〇七〇号)
九三三	同(倉石忠雄君紹介)(第二八六四号)	九四六	日雇労働者健康保険の廃止反対等に関する請願外百二十五件(板川正吾君紹介)(第二九三三号)	九六七	同外三件(砂原格君紹介)(第二九四五号)	九九一	同(廣沢直樹君紹介)(第三〇七一号)
九三四	同外六件(小宮山重四郎君紹介)(第二八六五号)	九四七	同外一件(太田一夫君紹介)(第二九三四号)	九六八	同外二件(田村良平君紹介)(第二九四六号)	九九二	同(森義親君紹介)(第三〇七二号)
九三五	同外五十六件(砂原格君紹介)(第二八六六号)	九四八	同(神門至馬夫君紹介)(第二九三五号)	九六九	同(谷垣專一君紹介)(第二九四七号)	九九三	同(廣義士法第五條の二改正に関する請願(菊池義郎君紹介)(第三〇五二号)
九三六	同外四件(田村良平君紹介)(第二八六七号)	九四九	同(金九德重君紹介)(第三〇一五号)	九七〇	同外百四件(永山忠則君紹介)(第二九四八号)	九九四	健康保険法及び船員保険法の臨時特例に関する法律案反対に関する請願(島本虎三君紹介)(第三〇七八号)
九三七	同(谷垣專一君紹介)(第二八六八号)	九五〇	同外四十九件(八木一男君紹介)(第三〇一六号)	九七一	同(丹羽久章君紹介)(第二九四九号)	九九五	生活保護制度改善に関する請願(中澤茂一君紹介)(第三〇七九号)
九三八	同外三件(羽田武嗣郎君紹介)(第二八六九号)	九五〇	同(神門至馬夫君紹介)(第二九三五号)	九七二	同(丹羽喬四郎君紹介)(第二九五〇号)	九九六	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外一件(天野光晴君紹介)(第三一四〇号)
九三九	同外十件(長谷川四郎君紹介)(第二八七〇号)	九五〇	同(金九德重君紹介)(第三〇一五号)	九七三	同外十一件(丹羽兵助君紹介)(第二九五一号)	九九七	同(稻村左近四郎君紹介)(第三一四一號)
九四〇	同外十件(八田貞義君紹介)(第二八七一號)	九五〇	同(横山利秋君紹介)(第三〇一七号)	九七四	同外四件(古内広雄君紹介)(第三〇二四号)	九九八	同外三件(宇野宗佑君紹介)(第三一四二號)
九四一	療術の新規開業制度に関する請願(赤城宗徳君紹介)(第二七四五号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九七五	衛生検査技師法の一部改正に関する請願(橋本次郎君紹介)(第三〇一九号)	九九九	同外一件(内田常雄君紹介)(第三一四三號)
九四二	同(永田亮一君紹介)(第二七四六号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九七六	医療保険制度改悪反対に関する請願(帆足計君紹介)(第三〇二〇号)	一〇〇〇	同(大竹太郎君紹介)(第三一四四号)
九四三	健康保険制度改善に関する請願(和田耕作君紹介)(第二七四七号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九七七	同(小濱新次君紹介)(第三〇七三号)	一〇〇一	同(大橋武夫君紹介)(第三一四五号)
九四四	同(山本政弘君紹介)(第二八二三号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九七八	同(島口重次郎君紹介)(第三〇七四号)	一〇〇二	同外十一件(飯谷忠男君紹介)(第三一四六号)
九四五	同外一件(佐藤觀次郎君紹介)(第二八七二号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九七九	同(島本虎三君紹介)(第三〇七五号)	一〇〇三	同(北澤直吉君紹介)(第三一四七号)
九四六	日雇労働者健康保険制度の存続及び給付内容改善に関する請願(大竹太郎君紹介)(第二七七九号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九八〇	同(野間千代三君紹介)(第三〇七六号)	一〇〇四	同(草野一郎平君紹介)(第三一四八号)
九四七	保育所予算の確保に関する請願(池田清志君紹介)(第二七八二号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九八一	同(伏木和雄君紹介)(第三〇七七号)	一〇〇五	同(倉石忠雄君紹介)(第三一四九号)
九四八	はり、きゅう治療費の患者負担軽減に関する請願(池田清志君紹介)(第二七八七号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九八二	健康保険制度の改悪反対に関する請願(森義親君紹介)(第三〇二二号)	一〇〇六	同外一件(河野洋平君紹介)(第三一五〇号)
九四九	同外一件(佐藤觀次郎君紹介)(第三〇一八号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九八三	健康保険制度改悪反対に関する請願	一〇〇七	同外三件(正示啓次郎君紹介)(第三一五一号)
九五〇	同外一件(佐藤觀次郎君紹介)(第三〇一八号)	九五〇	同(太田一夫君紹介)(第三〇一七号)	九八三	健康保険制度改悪反対に関する請願	一〇〇八	同外三件(田村良平君紹介)(第三一五五号)

一〇九	同(谷垣專一君紹介)(第三一五三號)
一一〇	同外五十八件(谷川和穂君紹介)(第三一五四號)
一一一	同(中馬辰猪君紹介)(第三一五五號)
一二二	同外十一件(床次徳二君紹介)(第三一五六號)
一二三	同外五十二件(永山忠則君紹介)(第三一五七號)
一二四	同(羽田武嗣郎君紹介)(第三一五八號)
一二五	同外二件(細田吉藏君紹介)(第三一九九號)
一二六	同外五件(三ツ林弥太郎君紹介)(第三一六〇號)
一二七	同外五件(山口敏夫君紹介)(第三一六一號)
一二八	同(山下元利君紹介)(第三一六二號)
一二九	同外七件(山中貞則君紹介)(第三一六三號)
一二〇	同(井出一太郎君紹介)(第三一六四號)
一二一	同外六件(稻葉修君紹介)(第三一九九號)
一二二	同(中馬辰猪君紹介)(第三二〇〇號)
一二三	同外十一件(床次徳二君紹介)(第三二〇一號)
一二四	同(野田武夫君紹介)(第三二〇二號)
一二五	同外二十一件(長谷川峻君紹介)(第三二〇三號)
一二六	同外十四件(橋口隆君紹介)(第三二〇四號)
一二七	療術の新規開業制度に関する請願 (佐々木良作君紹介)(第三二〇五號)
一二八	同(渡辺肇君紹介)(第三二〇六號)
一二九	衛生検査技師法の一部改正に関する請願 (金子一平君紹介)(第三二〇七號)
一三〇	同(古屋亨君紹介)(第三二〇八號)
一三一	同(磯崎七郎君紹介)(第三二〇九號)
一三二	同(横山利秋君紹介)(第三二一〇號)
一三三	榮養士法第五条の二改正に関する請願
一三四	同外一件(稻葉修君紹介)(第三二一七號)
一三五	季節労働者に対する失業保険の改悪反対に関する請願(横山利秋君紹介)(第三二一八號)
一三六	健康保険制度改悪反対に関する請願 (加藤万吉君紹介)(第三二一九號)
一三七	同外三件(久保田鶴松君紹介)(第三二二〇號)
一三八	同(島本虎三君紹介)(第三二二一號)
一三九	同(高田富之君紹介)(第三二二二號)
一四〇	同(門司亮君紹介)(第三二二三號)
一四一	全国全産業一律最低賃金制確立等に関する請願(島上善五郎君紹介)(第三二二四號)
一四二	同(畑和君紹介)(第三二二五號)
一四三	同(吉田之久君紹介)(第三二二六號)
一四四	同(山花秀雄君紹介)(第三二二七號)
一四五	医療保険制度改悪反対に関する請願 (麻生良方君紹介)(第三二二八號)
一四六	同外一件(曾益益君紹介)(第三二二九號)
一四七	同外三十一件(塚本三郎君紹介)(第三二三〇號)
一四八	同外一件(門司亮君紹介)(第三二三一號)
一四九	日雇労働者健康保険の廃止反対等に関する請願(東海林稔君紹介)(第三二三二號)
一五〇	同外三件(門司亮君紹介)(第三二三三號)
一五一	同(広沢賢一君紹介)(第三二三四號)
一五二	同(福岡義登君紹介)(第三二三五號)
一五三	健康保険制度改善に関する請願外三件 (佐藤觀次郎君紹介)(第三二三六號)
一五四	同外八件(広沢賢一君紹介)(第三二三七號)
一五五	健康保険法及び船員保険法の臨時特例
一五六	健康保険制度改善に関する請願(井岡大治君紹介)(第三三三八號)
一五七	同(河野正君紹介)(第三三三九號)
一五八	健康保険制度改悪反対に関する請願 (井上普方君紹介)(第三三四〇號)
一五九	同外一件(大出俊君紹介)(第三三四一號)
一六〇	同(久保田鶴松君紹介)(第三三四二號)
一六一	同外一件(河野密君紹介)(第三三四三號)
一六二	同(佐々栄三郎君紹介)(第三三四四號)
一六三	同(島本虎三君紹介)(第三三四五號)
一六四	同外二件(成田知巳君紹介)(第三三四六號)
一六五	同(山本幸一君紹介)(第三三四七號)
一六六	同(神門至馬夫君紹介)(第三三四八號)
一六七	同(鈴木一君紹介)(第三三四九號)
一六八	同外一件(門司亮君紹介)(第三三五十號)
一六九	同(森義親君紹介)(第三三五二號)
一七〇	日雇労働者健康保険の廃止反対等に関する請願外九十五件(板川正吾君紹介)(第三三五三號)
一七一	同外一件(大出俊君紹介)(第三三五四號)
一七二	同外二件(河野密君紹介)(第三三五五號)
一七三	同外二件(中井徳次郎君紹介)(第三三五六號)
一七四	同外三十三件(八木一男君紹介)(第三三五七號)
一七五	同外七十四件(八木一男君紹介)(第三三五八號)
一七六	全国全産業一律最低賃金制確立等に関する請願(大出俊君紹介)(第三三五九號)
一七七	同(木原実君紹介)(第三三六〇號)
一七八	同外六件(河野密君紹介)(第三三六一號)
一七九	同(佐野進君紹介)(第三三六二號)
一八〇	同(島本虎三君紹介)(第三三六三號)
一八一	同外八十五件(成田知巳君紹介)(第三三六四號)
一八二	同(長谷川正三君紹介)(第三三六五號)
一八三	同(原茂君紹介)(第三三六六號)
一八四	同(平林剛君紹介)(第三三六七號)
一八五	季節労働者に対する失業保険の改悪反対に関する請願(横山利秋君紹介)(第三三八八號)
一八六	同(横山利秋君紹介)(第三三八九號)
一八七	衛生検査技師法の一部改正に関する請願(太田一夫君紹介)(第三三九〇號)
一八八	同(佐藤觀次郎君紹介)(第三三九一號)
一八九	同(堀兼次郎君紹介)(第三三九二號)
一九〇	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願(伊能繁次郎君紹介)(第三三九五號)
一九一	同外二件(小川平二君紹介)(第三三九六號)
一九二	同外三件(大久保武雄君紹介)(第三三九七號)
一九三	同外三件(飯谷忠男君紹介)(第三三九八號)
一九四	同(瀬戸山三男君紹介)(第三三九九號)
一九五	同外二件(田村良平君紹介)(第三四〇〇號)
一九六	同(高橋清一郎君紹介)(第三四〇一號)
一九七	同(竹内黎一君紹介)(第三四〇二號)
一九八	同(竹下登君紹介)(第三四〇三號)
一九九	同外十一件(千葉三郎君紹介)(第三四〇四號)
二〇〇	同(塚田徹君紹介)(第三四〇五號)
二〇一	同(渡辺肇君紹介)(第三四〇六號)
二〇二	同外三件(青木正久君紹介)(第三四〇七號)

一一〇三	同(赤城宗徳君紹介)(第三五六三号)	一一二八	戦後長期抑留者の処遇に関する請願	一一五四	同外一件(森田重次郎君紹介)(第三八〇一號)	一一七九	同外二件(久保田鶴松君紹介)(第三八二一號)
一一〇四	同外一件(川野芳滿君紹介)(第三五六四号)	一一二九	同小川半次君紹介(第三八〇二號)	一一五五	日雇労働者健康保険の廃止反対等に関する請願外二件(神近市子君紹介)(第三六九二號)	一一八〇	同阪上安太郎君紹介(第三八一四号)
一一〇五	同外二件(齋藤邦吉君紹介)(第三五六五号)	一一三〇	同(久保田円次君紹介)(第三八〇三號)	一一五八	健康保険法改正反対に関する請願外五件(川村義義君紹介)(第三六九四号)	一一八一	同外二件(中嶋英夫君紹介)(第三八一五号)
一一〇六	同外二件(竹内黎一君紹介)(第三五六六号)	一一三一	衛生検査技師法の一部改正に関する請願(金子一平君紹介)(第三六八〇号)	一一五六	同外二十八件(八木一男君紹介)(第三六九三號)	一一八二	同成田知巳君紹介(第三八一六号)
一一〇七	同外九件(中垣國男君紹介)(第三五六七号)	一一三二	同(曾波茂君紹介)(第三六八一號)	一一五七	同(福岡義登君紹介)(第三八一七號)	一一八三	同平林剛君紹介(第三八一七号)
一一〇八	同(野田武夫君紹介)(第三五六八号)	一一三三	同(村山喜一君紹介)(第三六八二號)	一一五八	健康保険法改正反対に関する請願外五件(川村義義君紹介)(第三六九四号)	一一八四	同山内広君紹介(第三八一八号)
一一〇九	健康保険法及び船員保険法の臨時特例に関する法律案反対に関する請願(下平正一君紹介)(第三四二九号)	一一三四	同(田中龍夫君紹介)(第三八一〇号)	一一五九	同外百八十一件(八木一男君紹介)(第三六九五号)	一一八五	同外一件(米田東吾君紹介)(第三八一九号)
一一一〇	同(中澤茂一君紹介)(第三四三〇号)	一一三五	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外十九件(上林山榮吉君紹介)(第三六八三號)	一一六〇	同外一件(山本政弘君紹介)(第三六九六号)	一一八六	失業保険、労災保険法改正反対等に関する請願外二件(山本政弘君紹介)(第三六九九号)
一一一一	同(原茂君紹介)(第三四三一號)	一一三六	同外二件(井出一太郎君紹介)(第三六八四號)	一一六一	同(石橋政嗣君紹介)(第三八二〇号)	一一八七	健康保険法改正反対に関する請願(井岡大治君紹介)(第三八〇四号)
一一一二	同(平等文成君紹介)(第三四三二號)	一一三七	同(吉川久衛君紹介)(第三六八五号)	一一六二	同(稻村隆一君紹介)(第三八二一號)	一一八八	同(佐野進君紹介)(第三八〇五号)
一一一三	同(小澤貞孝君紹介)(第三三七九号)	一一三八	同(澁谷直藏君紹介)(第三六八六号)	一一六三	同(江田三郎君紹介)(第三八二二號)	一一八九	全国全産業一律最低賃金制確立等に関する請願(久保三郎君紹介)(第三八〇六号)
一一一四	同(河野正君紹介)(第三三八〇号)	一一四〇	同(中馬辰猪君紹介)(第三六八八号)	一一六四	同外一件(加藤清二君紹介)(第三八二三號)	一一九〇	同外一件(玉置一徳君紹介)(第三八〇七号)
一一一五	同(和田耕作君紹介)(第三三八一號)	一一四一	同外一件(羽田武嗣郎君紹介)(第三六八九号)	一一六五	同(成田知巳君紹介)(第三八二四号)	一一九一	一酸化炭素中毒患者に対する特別法制定に関する請願(神門至馬夫君紹介)(第三八〇八号)
一一一六	国民年金事務取扱交付金の増額に関する請願(池田清志君紹介)(第三五一〇号)	一一四二	同外一件(古井喜實君紹介)(第三六九〇号)	一一六六	同(勝間田清一君紹介)(第三八二五号)	一一九二	全国全産業一律最低賃金制及び医療保障の確立等に関する請願(神門至馬夫君紹介)(第三八〇九号)
一一一七	医療保険制度改悪反対に関する請願(小澤貞孝君紹介)(第三五五九号)	一一四三	同(渡辺美智雄君紹介)(第三六九一號)	一一六七	同外一件(河野正君紹介)(第三八二六号)	一一九三	国有林労働者の労働条件改善に関する請願(森義親君紹介)(第三八三三號)
一一一八	同(折小野良一君紹介)(第三五七〇号)	一一四四	同外十件(赤澤正道君紹介)(第三三七九一號)	一一六八	同(神門至馬夫君紹介)(第三八二七號)	一一九四	各種福祉年金の併給限度緩和に関する請願外二件(青木正久君紹介)(第三八八〇号)
一一一九	同(鈴木一君紹介)(第三五七一號)	一一四五	同外一件(秋田大助君紹介)(第三三七九二號)	一一六九	同(曾称益君紹介)(第三八二八號)	一一九五	同外二件(小笠公昭君紹介)(第三八八一號)
一一二〇	同(曾称益君紹介)(第三五七二號)	一一四六	同外十九件(荒船清十郎君紹介)(第三三七九三號)	一一七〇	同(中澤茂一君紹介)(第三八二九號)	一一九六	同(大野市郎君紹介)(第三八八二號)
一一二一	同(門司亮君紹介)(第三五七三號)	一一四七	同(吉川久衛君紹介)(第三三七九四号)	一一七一	同(中谷鉄也君紹介)(第三八三〇号)	一一九七	同外二十二件(奥野誠亮君紹介)(第三八八三號)
一一二二	同外一件(和田耕作君紹介)(第三五七四号)	一一四八	同(坂田英一君紹介)(第三三七九五号)	一一七二	同(安井吉典君紹介)(第三八三一號)	一一九八	同外一件(飯谷忠男君紹介)(第三八八四號)
一一二三	自閉症児の治療施設整備に関する請願(川野芳滿君紹介)(第三五八二號)	一一四九	同(田村良平君紹介)(第三三七九六号)	一一七三	同外一件(柳田秀一君紹介)(第三八三二號)		
一一二四	戦後長期抑留者の処遇に関する請願(久保三郎君紹介)(第三五八四号)	一一五〇	同外十五件(谷川和穂君紹介)(第三三七九七號)	一一七四	同外一件(山口鶴男君紹介)(第三八三三號)		
一一二五	同(曾波茂君紹介)(第三五八五号)	一一五一	同外七件(永山忠則君紹介)(第三三七九八号)	一一七五	同(山田睦目君紹介)(第三八三四号)		
一一二六	健康保険法改悪反対に関する請願(田中武夫君紹介)(第三五八六号)	一一五二	同(長谷川峻君紹介)(第三三七九九号)	一一七六	医療保険法改悪反対に関する請願(佐々木更三君紹介)(第三六九七号)		
一一二七	失業保険法の改悪反対に関する請願(門司亮君紹介)(第三五八七号)	一一五三	同外二件(福家俊一君紹介)(第三三八〇号)	一一七七	同外一件(山本政弘君紹介)(第三六九八号)		

[illegible]

附則第一項中「昭和四十二年六月一日」を「公布の日」に改める。

○川野委員長 修正案の趣旨の説明を聴取いたします。世耕政隆君。

○世耕政隆君 私は、ただいま議題となっておりま
す児童福祉法の一部を改正する法律案に対する自由民主党、日本社会党、民主社会党及び公明党四
派共同提案にかかる修正案につきまして、その提
案の理由を御説明申し上げます。

お手元に修正案が配付してありますので、朗読
は省略いたします。

要旨は、施行期日を修正しようとするものでござ
います。

何とぞ委員各位の賛成をお願いいたします。

(拍手)
○川野委員長 修正案について御発言はありませんか。

○川野委員長 御発言がなければ、これより児童
福祉法の一部を改正する法律案及びこれに対する
修正案を一括して討論に対するのであります。す
が、別に申し出もありませんので、直ちに採決い
たします。

まず、修正案について採決いたします。

本修正案に賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)
○川野委員長 起立総員。よって、本修正案は可
決いたしました。

次に、ただいまの修正部分を除く原案について
採決いたします。

これに賛成の諸君の起立を求めます。

(賛成者起立)
○川野委員長 起立総員。よって、本案は修正議
決すべきものと決しました。

○川野委員長 この際、世耕政隆君、田邊誠君、
田畑金光君及び大橋敏雄君より、本案に対し附帯
決議を付すべしとの動議が提出されております。

その趣旨説明を求めます。田邊誠君。

○田邊誠君 児童福祉法の一部を改正する法律案
に対する附帯決議案の提案説明をいたします。

案文は、各委員に配付をしたとおりでございます。
以上をもって終わります。(拍手)

(参照)
児童福祉法の一部を改正する法律案に対す
る附帯決議

わが国の心身障害児(者)対策は、先進国にく
らべてかなり立ち遅れている現状にかんがみ、政
府は、左記の事項につき適切な措置を講ずるよう
努力すべきである。

一、児童憲章の精神に基づき、心身に障害をも
つ児童のすべてを対象とする総合的な心身障
害児福祉施策を確立すること。

一、重症心身障害児施設の入所児童の選定にあ
つては、重度の精神薄弱があつて、家庭内
療育はもとより、重度の精神薄弱児を収容す
る精神薄弱児施設において、集団生活指導が
不可能と考えられるもの及びリハビリテーシ
ョンが困難な身体障害があり、家庭内療育は
もとより、肢体不自由児施設において療育す
ることが不適当と考えられる等、従来、重症
心身障害児施設の入所対象としたものをも含
めて、配慮するよう努めること。

一、特に対策の立ち遅れが目立っている進行性
筋萎縮症児については、その特殊性にかんが
み、重症心身障害児に準ずる取扱いを行なう
とともに、これら施設の増設整備をいそぐこ
と。

一、自閉症児についての啓蒙と治療、教育、養
護については、さらに検討を加え、対策を早

急に樹立すること。

一、重症心身障害児施設の増設に伴ない、その
職員確保には万全を期すること。

一、国はすみやかに、これら児童の発生予防お
よび治療のため、調査研究機関を設置し、十
分な経費を計上するなど、適切な対策につい
て積極的な努力をあらうこと。

一、保育所等の児童福祉施設の大規模な増設を図
ること。

○川野委員長 本動議について採決いたします。
本動議のごとく決するに賛成の諸君の起立を求
めます。

(賛成者起立)
○川野委員長 起立総員。よって、さよう決しま
した。

○川野委員長 次に、児童扶養手当法及び特別児
童扶養手当法の一部を改正する法律案及び国民年
金法の一部を改正する法律案の両案を議題とし、
審査を進めます。

両案に対する質疑の申し出はありません。

○川野委員長 ただいま委員長の手元に、世耕政
隆君、田邊誠君、田畑金光君及び大橋敏雄君よ
り、児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の一
部を改正する法律案に対する修正案並びに国民年
金法の一部を改正する法律案に対する修正案が、
それぞれ提出されております。

児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の
一部を改正する法律案に対する修正案

児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の一部
を改正する法律案の一部を次のように修正する。
附則第一条ただし書中「第一条中児童扶養手

当法第十条の改正規定(四十九万円)を「五十七万
円」に改める部分を除く。及び第二条中特別児童
扶養手当法第九条の改正規定(四十九万円)を「五
十七万円」に改める部分を除く。は昭和四十二年
六月一日からを削り、「昭和四十三年一月一日」
を、「昭和四十三年一月一日」に改める。

国民年金法の一部を改正する法律案に対す
る修正案

国民年金法の一部を改正する法律案の一部を次
のように修正する。

附則第一条ただし書中「第六十六条第一項の
改正規定(四十九万円)を「五十七万円」に改める
部分を除く。は昭和四十二年六月一日から」を削
り、「昭和四十三年一月一日」を、「昭和四十三年
一月一日」に改める。

○川野委員長 両修正案の趣旨の説明を聴取いた
します。世耕政隆君。

○世耕政隆君 私は、ただいま議題となっておりま
す児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の一部
を改正する法律案並びに国民年金法の一部を改正
する法律案に対する自由民主党、日本社会党、民
主社会党及び公明党四派共同提案にかかる修正案
につきまして、その提案の理由を御説明申し上げ
ます。

お手元に修正案が配付してありますので、朗読
は省略いたしますが、要旨は、いずれも施行期日
を修正しようとするものであります。

何とぞ委員各位の賛成をお願いいたします。

(拍手)
○川野委員長 両修正案について御発言はありま
せんか。

○川野委員長 なければ、両案及びこれに対する
修正案を一括して討論に付するのであります。が、

別に討論の申し出もありませんので、これより順次採決いたします。

まず、児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の一部を改正する法律案に対する修正案について採決いたします。

本修正案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、本修正案は可決いたしました。

次に、ただいまの修正部分を除く原案について採決いたします。

これに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の一部を改正する法律案は修正議決すべきものと決しました。

次に、国民年金法の一部を改正する法律案に対する修正案について採決いたします。

本修正案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、本修正案は可決いたしました。

次に、ただいまの修正部分を除く原案について採決いたします。

これに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、国民年金法の一部を改正する法律案は修正議決すべきものと決しました。

○川野委員長 この際、世耕政隆君、田邊誠君、田畑金光君及び大橋敏雄君より、児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の一部を改正する法律案並びに国民年金法の一部を改正する法律案に対し、附帯決議を付すべしとの動議がそれぞれ提出されております。

その趣旨説明を求めます。田邊誠君。

○田邊委員 ただいま提案をいたしました二案に

対する附帯決議案は、各委員に配付したとおりでございます。

以上、提案申し上げます。

〔参照〕

児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の

一部を改正する法律案に対する附帯決議

政府は、母子家庭の福祉及び重度の障害児の福祉を増進するため、左記事項につきすみやかに実現するよう努力すること。

一、児童扶養手当及び特別児童扶養手当の額を、さらに大幅に引き上げること。

二、児童扶養手当及び特別児童扶養手当の所得制限をさらに大幅に緩和すること。

三、特別児童扶養手当は、公的年金と併給すること。

四、特別児童扶養手当の支給事由となる障害の範囲を拡大すること。

五、父母の死別、生別の如何を問わず、母子家庭の援護に差別をつけないようにすること。

六、児童手当に関する法律を、昭和四十三年度から実施するよう努力すること。

国民年金法の一部を改正する法律案に対する附帯決議

政府は国民年金制度の重要性にかんがみ、左記事項につき、速やかに実現するよう検討努力すべきである。

1. 各年金の年金額を大幅に引上げること。

2. 老齢年金、老齢福祉年金の支給開始年齢を引下げることに。

3. 福祉年金の給付制限を大幅に緩和すること。

4. 年金額、保険料、給付要件、受給対象等すべての面において、社会保障の精神に従って改善すること。

5. 右の実現のため、大幅な国庫支出を行なうこと。

こと。

6. 拠出年金の積立金の運用については、被保険者の意向が充分反映できるようにし、被保険者の福祉のため運用する部分を大幅に拡充すること。

特に左の具体的事項については、可及的速やかに実現をはかるべきである。

1. 老齢福祉年金額を大幅に引上げ、他の福祉年金額も右にならって大幅に引上げることに。

2. 老齢福祉年金受給年齢を明年度より段階的に引下げることに。

3. 老齢福祉年金の夫婦受給制限を撤廃すること。

4. 各種福祉年金制度の所得制限の限度額を大幅に引上げること。

尚福祉年金受給権者になつたものに対しては、前項の所得に大幅の変動がない限り、一定期間支給制限をしない様検討すること。

5. 障害福祉年金の現在の受給資格より障害の程度の低いものに対し、二級障害福祉年金制度をつくること。

6. 母子福祉年金の多子加算等、子に対する扶養加算を大幅に増額すること。

7. 公的年金制度について、年金のスライド制を確立すること。

8. 年金加入前の障害についても、拠出制年金の支給対象とすること。

9. 保険料の免除を受けたものの年金給付については、更に優遇の措置を講ずること。

10. 事務費について、必要額を十分確保すること。

11. 附加年金制度の実現について検討を行なうこと。

○川野委員長 順次採決いたします。

児童扶養手当法及び特別児童扶養手当法の一部を改正する法律案に附帯決議を付するの動議に賛

成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、さよう決しました。

次に、国民年金法の一部を改正する法律案に附帯決議を付するの動議に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、さよう決しました。

○川野委員長 内閣提出の精神薄弱者福祉法の一部を改正する法律案、身体障害者福祉法の一部を改正する法律案及び環境衛生金融公庫法案の三案を議題とし、審査を進めます。

精神薄弱者福祉法の一部を改正する法律案

精神薄弱者福祉法の一部を改正する法律案

精神薄弱者福祉法(昭和三十五年法律第三十七号の一部を次のように改正する。

第十六条第一項第二号中「入所させ」を「入所させて、その援護を行ない」に、「紹介する」を「その援護を委託する」に改め、同条第四項中、「若しくは紹介し」を削る。

第十八条を次のように改める。

(施設の種別)

第十八条 精神薄弱者援護施設の種別は、次のとおりとする。

一 精神薄弱者更生施設

二 精神薄弱者授産施設

2 精神薄弱者更生施設は、十八歳以上の精神薄弱者を入所させて、これを保護するとともに、その更生に必要な指導及び訓練を行なうことを目的とする施設とする。

3 精神薄弱者授産施設は、十八歳以上の精神薄弱者であつて、雇用されることが困難なものを入所させて、自活に必要な訓練を行なうとともに

に、職業を与えて自活させることを目的とする施設とする。

第二十条の見出しを「措置の受託義務」に改め、同条中「紹介」を「保護の委託」に改める。

第二十一条中、「若しくは同号の規定による紹介を受けて」を削り、「同条第二項を同号若しくは同条第二項に改める。

第二十二條第二号中「第四号に掲げる費用を除く」を削り、同条第四号を削る。

第二十三條第三号中「第五号に掲げる費用を除く」を削り、同条第五号を削る。

第二十六條第一項第一号中「第十六條第二項」を「第十六條第一項第二号及び同条第二項」に改め、同項第二号を削り、同項第三号を同項第二号とし、同項第四号中「第十六條第二項」を「第十六條第一項第二号及び同条第二項」に改め、同号を同項第三号とし、同項中第五号を第四号とし、第六号を削る。

第二十七條第一項中「精神薄弱者保護施設を設置する」を「第十六條第一項第二号又は同条第二項の規定による行政措置に要する費用を支弁すべきに、当該施設に」を、当該行政措置により精神薄弱者保護施設に」に改め、「以下同じ」を削り、同条第二項を削る。

附則第八項を附則第十項とし、附則第三項から附則第七項までを二項ずつ繰り下げ、附則第二項の次に次の二項を加える。

(保護の措置の特例)
3 保護の実施機関は、児童福祉法第六十三條の五の規定による通知に係る児童について、第十六條第一項第二号又は同条第二項の措置をとることができる。

4 前項に規定する児童は、第十條第四項及び第十三條第二項の規定の適用については、十八歳以上の精神薄弱者とみなす。

附則

(施行期日)

1 この法律は、昭和四十二年十月一日から施行する。

第一類第七号 社会労働委員会議録第三十号

(児童福祉法の一部改正)

2 児童福祉法(昭和二十二年法律第百六十四号)の一部を次のように改正する。

第六十三條の四の次に次の一条を加える。

第六十三條の五 児童相談所長は、当分の間、第二十六條第一項に規定する児童のうち十五歳以上の者について、精神薄弱者福祉法(昭和三十三年法律第三十七号)第十八條に規定する精神薄弱者保護施設に入所させることが適当であると認めるときは、その旨を同法第九條に規定する保護の実施機関に通知することができる。

(社会福祉事業法の一部改正)
3 社会福祉事業法(昭和二十六年法律第四十五号)の一部を次のように改正する。

第二條第二項第四号中「精神薄弱者保護施設」を「精神薄弱者更生施設又は精神薄弱者授産施設」に改める。

(社会福祉事業法の一部改正に伴う経過措置)
4 この法律の施行の際現に社会福祉事業法第五十七條第一項の規定による届出をし、又は同条第二項の規定による許可を受けて前項の規定による改正前の同法第二條第二項第四号に規定する事業を営んでいる者は、次の各号の区分に応じ、それぞれ当該各号に規定する事業に関し、同法第五十七條第一項の規定による届出をし、又は同条第二項の規定による許可を受けたものとみなす。

一 当該事業が精神薄弱者授産施設を営営する事業に相当する場合 精神薄弱者授産施設を営営する事業
二 その他の場合 精神薄弱者更生施設を営営する事業

理由

精神薄弱者福祉法を強化するため、保護の実施機関が、従来の紹介の措置にかえて、他の地方公共団体の設置する精神薄弱者保護施設に精神薄弱者の保護を委託することができることとする。

昭和四十二年七月二十一日

ともに、十五歳以上の精神薄弱児についても、児童相談所長から通知を受けたときは、精神薄弱者保護施設に入所の措置をとることができることとする等の必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

身体障害者福祉法の一部を改正する法律案

身体障害者福祉法の一部を改正する法律案
身体障害者福祉法(昭和二十四年法律第二百八十三号)の一部を次のように改正する。

目次中「第十二條の二」を「第十二條の三」に改める。

第一条中「福祉を図ることを」を「生活の安定に寄与する等その福祉の増進を図ることに改める。

第三条を次のように改める。
(国、地方公共団体及び国民の責務)
第三条 国及び地方公共団体は、身体障害者に対する更生の援助と更生のために必要な保護の実施に努めなければならない。

2 国民は、身体障害者がある障害を克服し、社会経済活動に参与しようとする努力に対し、協力するよう努めなければならない。

第五條第一項中「ろうあ者更生施設、身体障害者収容授産施設」を「ろうあ者更生施設、内部障害者更生施設、身体障害者授産施設」に改める。

第一章中第十二條の二の次に次の一条を加える。

(身体障害者相談員)

第十二條の三 都道府県知事は、身体に障害のある者の福祉の増進を図るため、身体に障害のある者の相談に応じ、及び身体に障害のある者の更生のために必要な援助を行なうことを、社会的信望があり、かつ、身体に障害のある者の更生援助に熱意と識見を持つてゐる者に委託することができる。

2 前項の規定により委託を受けた者は、身体障害者相談員と称する。

3 身体障害者相談員は、その委託を受けた業務

を行なうに当たつては、個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守らなければならない。

第十六條第二項第二号中「第二十一條の十一第一項」を「第十九條第一項」に改める。

第十八條第一項第三号中「収容又は」を「収容若しくは通所又は」に、「紹介すること」を「これらの者を収容し、若しくは通所させることを委託すること」に改め、同条第二項各号列記以外の部分中「又は身体障害者収容授産施設」を、「内部障害者更生施設又は身体障害者授産施設」に、「身体障害者の収容」を「身体障害者を収容し、又は通所させること」に改め、同項第二号中「収容」を「収容し、又は通所させること」に改める。

第二十一條の二の次に次の一条を加える。

(身体障害者家庭奉仕員による世話)
第二十一條の三 市町村は、社会福祉法人その他の団体に對して、身体上の障害のため日常生活を営むのに著しく支障のある身体障害者の家庭に身体障害者家庭奉仕員(身体障害者の家庭を訪問して身体障害者の日常生活上の世話を行なう者をいう)を派遣してその日常生活上の世話を行なわせることを委託することができる。

第二十七條第二項中「厚生大臣の認可を受けて」を削る。

第二十八條の二を次のように改める。

(措置の受託義務)
第二十八條の二 身体障害者更生保護施設は、保護の実施機関から第十八條第一項第三号又は第二項の規定による委託を受けたときは、正当な理由がない限り、これを拒んではならない。

第二十九條及び第三十條中「収容し」の下に、「又は通所させて」を加える。

第三十條の二(見出しを含む)中「ろうあ者更生施設」を「ろうあ者更生施設」に、「ろうあ者を収容し」を「ろうあ者を収容し、又は通所させて」に改め、同条の次に次の一条を加える。

(内部障害者更生施設)

第三十条の三 内部障害者更生施設は、心臓又は呼吸器の機能に障害のある者を収容し、又は通所させて、医学的管理の下に、その更生に必要な指導及び訓練を行なう施設とする。

第三十一条(見出しを含む)中「身体障害者収容授産施設」を「身体障害者授産施設」に改め、「収容」の下に「又は通所させて」を加える。

第三十五条第二号中「費用」の下に「(国の設置する身体障害者更生援護施設に対し第十八条第一項第三号の規定による委託をした場合において、その委託後に要する費用を除く。)」を加え、同条第三号の次に次の一号を加える。

三の二 第二十一条の三の規定により市町村が行なう委託に要する費用

第三十六条第二号の次に次の一号を加える。

二の二 第十二条の三の規定により都道府県知事が行なう委託に要する費用

第三十六条第三号中「費用」の下に「(国の設置する身体障害者更生援護施設に対し第十八条第一項第三号の規定による委託をした場合において、その委託後に要する費用を除く。)」を加える。

第三十六条の二中「第十八条第二項」を「第十八条第一項第三号又は第二項」に、「身体障害者の収容」を「身体障害者を収容し、又は通所させること」に改める。

第三十七条の二第四号中「第十八条第二項、第十九条及び」を「第十八条第一項第三号及び第二項、第十九条並びに」に改める。

第四十九条の次に次の一号を加える。

(福祉の措置の特例)

第四十九条の二 援護の実施機関は、児童福祉法第六十三条の四の規定による通知に係る児童について、第十八条第一項第三号又は第二項の措置をとることができる。

2 前項に規定する児童は、第九条、第九條の二、第十一條の二及び第三十五条から第三十六条の二までの規定の適用については、身体障害者となす。

別表に次の一号を加える。

五 心臓又は呼吸器の機能の障害で、永続し、かつ、日常生活が著しい制限を受ける程度であると認められるもの

附則

(施行期日)

1 この法律は、昭和四十二年七月一日から施行する。

(児童福祉法の一部改正)

2 児童福祉法(昭和二十二年法律第六十四号)の一部を次のように改正する。

第六十三条の三の次に次の一号を加える。

第六十三条の四 児童相談所長は、当分の間、第二十六条第一項に規定する児童のうち身体障害者福祉法第十五条第四項の規定により身体障害者手帳の交付を受けた十五歳以上の者について、同法第五條第一項に規定する身体障害者更生援護施設に収容し、又は通所させることが適当であると認めるときは、その旨を同法第九條に規定する援護の実施機関に通知することができる。

(厚生省設置法の一部改正)

3 厚生省設置法(昭和二十四年法律第五十一号)の一部を次のように改正する。

第五條第五十二号の四「基準を定め、都道府県に対して身体障害者更生援護施設等の設置を認可し、又はその認可を取り消すこと」を「基準を定めること」に改める。

(社会福祉事業法の一部改正)

4 社会福祉事業法(昭和二十六年法律第四十五号)の一部を次のように改正する。

第二條第二項第三号中「身体不自由者更生施設」を「身体不自由者更生施設に、ろうあ者更生施設又は身体障害者収容授産施設を、ろうあ者更生施設、内部障害者更生施設又は身体障害者授産施設」に改め、同項中第六号を削り、第七号を第六号とする。

(社会福祉施設職員退職手当共済法の一部改正)

5 社会福祉施設職員退職手当共済法(昭和三十一年法律第五十五号)の一部を次のように改正する。

正する。

第二條第一項第四号中「及び身体障害者収容授産施設」を「内部障害者更生施設及び身体障害者授産施設」に改める。

(経過規定)

6 この法律の施行の際現に社会福祉事業等の施設に関する措置法(昭和三十三年法律第四十二号)第二條の規定により社会福祉法人が国から無償で貸付けを受けた普通財産をその用に供している生活保護法(昭和二十五年法律第四十四号)第三十八條第三項に規定する更生施設が、この法律の施行の日から起算して一箇月以内に更生施設でなくなつた場合において、同時に当該施設につきこの法律による改正後の身体障害者福祉法第三十條の三に規定する内部障害者更生施設として同法第十八條第二項の規定による厚生大臣の指定が行なわれ、かつ、当該社会福祉法人が当該普通財産を引き続きその内部障害者更生施設の用に供するとき、当分の間、当該施設を社会福祉事業等の施設に関する措置法第二條第一号に規定する施設とみなす。

理由

身体障害者対策を強化するため、身体障害者の範囲を拡大し、心臓又は呼吸器の機能に障害のある者に対する福祉の措置の充実を図るとともに、身体障害者相談員の設置及び家庭奉仕員の派遣に関する規定を設ける等の必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

理由

環境衛生金融公庫法案

環境衛生金融公庫法案

第一章 総則(第一条―第八條)

第二章 役員及び職員(第九條―第十八條)

第三章 業務(第十九條―第二十二條)

第四章 会計(第二十三條―第二十九條)

第五章 監督(第三十條―第三十二條)

第六章 補則(第三十三條・第三十四條)

第七章 罰則(第三十五條―第三十七條)

附則

第一章 総則

(目的)

第一条 環境衛生金融公庫は、公衆衛生の見地から国民の日常生活に密接な関係のある環境衛生関係の營業について、衛生水準を高め、及び近代化を促進するために必要な資金であつて、一般の金融機関が融通することを困難とするものを融通し、もつて公衆衛生の向上及び増進に資することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「環境衛生関係營業」とは、次の各号に掲げる營業をいう。

一 食品衛生法(昭和二十二年法律第二百三十三号)の規定により許可を受けて営む同法第二十条に規定する營業のうち、飲食店營業、喫茶店營業、食肉販売業及び氷雪販売業

二 理容業(理容師法(昭和二十二年法律第二百三十四号)の規定により届出をして理容所を開設することをいう。)

三 美容業(美容師法(昭和三十三年法律第六十三号)の規定により届出をして美容所を開設することをいう。)

四 興行場法(昭和三十三年法律第三十七号)に規定する興行場營業のうち、映画、演劇又は演芸に係るもの

五 旅館業法(昭和二十三年法律第三十八号)に規定する旅館業

六 公衆浴場法(昭和二十三年法律第三十九号)に規定する浴場業

七 クリーニング業法(昭和二十五年法律第二百七十七号)に規定するクリーニング業

2 この法律において「環境衛生関係營業者」とは、環境衛生関係營業を営む者であつて、次の各号のいずれかに該当するものをいう。

一 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

二 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

三 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

四 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

五 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

六 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

七 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

八 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

九 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

十 資本の額又は出資の総額が一千万円(政令で定める業種に属する營業を主たる營業とする

者)を主たる營業とする者

る者については、政令で定める金額)以下の会社並びに常時使用する従業員の数が五十人(政令で定める業種に属する営業を主たる営業とする者については、政令で定める数)以下の会社及び個人

二 環境衛生同業組合若しくは環境衛生同業組合連合会又は特別の法律によつて設立された政令で定めるその他の組合若しくはその連合会であつて、その直接又は間接の構成員たる事業者の三分の二以上が前号に該当する者であるもの

三 次に掲げる者であつて、当該会社の合併若しくは設立又は当該会社に対する出資が環境衛生関係営業における経営規模の適正化等の促進のために特に必要であつたと認められるもののうち、厚生省令、大蔵省令で定める基準に該当するもの(第一号に掲げる者を除く。)

イ 第一号に該当する者(以下「中小事業者」という。)が、他の中小事業者と合併をし、又は他の中小事業者とともに資本の額若しくは出資の総額の三分の二以上の額を出資して設立する会社(合併後存続する会社を含む)であつて、その合併若しくは設立をした日から三年を経過しないもの

ロ 中小事業者から出資を受けた会社(当該出資を受ける際に中小事業者であつたものに限る。)であつて、その出資を受けた日から三年を経過しないもの

(法人格)

第三条 環境衛生金融公庫(以下「公庫」という。)は、法人とする。

(事務所)

第四条 公庫は、事務所を東京都に置く。

(資本金)

第五条 公庫の資本金は、十億円とし、政府がその全額を出資する。

2 政府は、必要があると認めるときは、予算で定める金額の範囲内において、公庫に追加して

出資することができる。

3 公庫は、前項の規定による政府の出資があつたときは、その出資額により資本金を増加するものとする。

(登記)

第六条 公庫は、政令で定めるところにより、登記しなければならない。

2 前項の規定により登記を必要とする事項は、登記した後でなければ、これをもつて第三者に對抗することができない。

(名称の使用制限)

第七条 公庫でない者は、環境衛生金融公庫という名称を用いてはならない。

(民法の準用)

第八条 民法(明治二十九年法律第八十九号)第四十四条及び第五十条の規定は、公庫に準用する。

第二章 役員及び職員

(役員)

第九条 公庫に、役員として、理事長一人、理事三人以内及び監事一人を置く。

(役員の職務及び権限)

第十条 理事長は、公庫を代表し、その業務を総理する。

2 理事は、理事長の定めるところにより、理事長を補佐して公庫の業務を掌理し、理事長に事故があるときはその職務を代理し、理事長が欠員のときはその職務を行なう。

3 監事は、公庫の業務を監査する。

4 監事は、監査の結果に基づき、必要があると認めるときは、理事長又は主務大臣に意見を提出することができる。

(役員の任命)

第十一条 理事長及び監事は、主務大臣が任命する。

2 理事は、理事長が主務大臣の認可を受けて任命する。

(役員の任期)

第十二条 役員の任期は、四年とする。

2 役員は、再任されることができる。

(役員の欠格条項)

第十三条 政府又は地方公共団体の職員(非常勤の者を除く)は、役員となることができない。

(役員兼任禁止)

第十四条 役員は、営利を目的とする団体の役員となり、又は自ら営利事業に従事してはならない。

(代表権の制限)

第十五条 公庫と理事長との利益が相反する事項については、理事長は、代表権を有しない。この場合においては、監事が公庫を代表する。

(職員の任命)

第十六条 公庫の職員は、理事長が任命する。

(役員及び職員の公務員たる性質)

第十七条 役員及び職員は、刑法(明治四十年法律第四十五号)その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

(退職手当の支給の基準)

第十八条 公庫は、役員及び職員に対する退職手当の支給の基準を設けようとするときは、あらかじめ、主務大臣の承認を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

第三章 業務

(業務の範囲)

第十九条 公庫は、第一条の目的を達成するため、次の各号に掲げる者に対し、それぞれ当該各号に定める資金を貸し付ける業務を行なう。

一 環境衛生関係事業者 次に掲げる施設又は設備(車両を含む。以下同じ。)の設置又は整備(当該施設又は設備の設置又は整備に伴つて必要となる施設の設置又は整備を含む。)に要する資金

イ 当該営業について適正な衛生上の措置を講ずるために必要な施設又は設備

ロ 当該営業の近代化を図るために必要な施設又は設備(当該営業に附随する業務に係るものを含む。)

るものを含む。)

ハ 当該営業に係る施設を利用して営むことが適当と認められる事業であつて、当該営業の近代化に寄与するものを行なうために必要な施設又は設備

二 環境衛生関係事業者が営む当該営業に使用される者であつて、厚生省令、大蔵省令で定める基準に該当するもの、その者が新たに当該営業と同一の業種に属する営業を営むために必要な施設又は設備の設置に要する資金

三 環境衛生同業組合、環境衛生同業組合連合会その他の者であつて、環境衛生関係事業者の共通の利益を増進するため、これらの事業者の当該営業の用に供する物品の製造、保管、購入等の事業又は当該営業に使用される者の福利厚生等の事業を行なうもの、当該事業を行なうために必要な施設若しくは設備の設置若しくは整備に要する資金又は当該事業を行なうに要する資金

四 環境衛生関係営業に関する技術の改善向上のための研究を行なう者、当該研究を行なうために必要な施設又は設備の設置又は整備に要する資金

五 美容師又は美容師を養成する事業(理容師法又は美容師法の規定により指定を受けて理容師養成施設又は美容師養成施設を開設することをいう。)を行なう者、理容師養成施設又は美容師養成施設の整備に要する資金

公庫は、前項の規定する業務のほか、第三十三条第一項の規定により承継した権利義務の処理に関する業務を行なうことができる。

(業務の委託等)

第二十条 公庫は、主務大臣の認可を受けて、金融機関に対し、その業務の一部を委託することができる。

2 前項の規定による主務大臣の認可があつた場合においては、金融機関は、他の法律の規定にかかわらず、当該認可に係る業務を受託することができる。

3 第一項の規定により業務の委託を受けた金融機関(以下「受託金融機関」という。)の役員又は職員であつて、当該委託業務に従事するものは、刑法その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなす。

(業務方法書)

第二十一条 公庫は、業務の開始の際、業務方法書を作成し、主務大臣の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

2 前項の業務方法書には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

一 貸付金の使途、貸付けの相手方、利率、償還期限、据置期間、貸付金額の限度、償還の方法、担保に関する事項等貸付けに関する業務の方法

二 業務委託の基準

(事業計画及び資金計画)

第二十二條 公庫は、四半期ごとに、事業計画及び資金計画を作成し、主務大臣の認可を受けなければならない。これを変更しようとするときも、同様とする。

第四章 会計

(予算及び決算)

第二十三條 公庫の予算及び決算に関しては、公庫の予算及び決算に関する法律(昭和二十六年法律第九十九号)の定めるところによる。

(国庫納付金)

第二十四條 公庫は、毎事業年度の損益計算上利益金を生じたときは、これを翌事業年度の五月三十一日まで国庫に納付しなければならない。

2 前項の規定による国庫納付金は、同項に規定する日の属する会計年度の前年度の政府の歳入とする。

3 第一項の利益金の計算の方法並びに同項の規定による国庫納付金の納付の手続及びその帰属する会計については、政令で定める。

(借入金)

第二十五條 公庫は、主務大臣の認可を受けて、政府から資金の借入れをすることができる。

2 前項に規定する場合を除くほか、公庫は、資金の借入れをしてはならない。

(余裕金の運用等)

第二十六條 公庫は、次の方法による場合のほか、業務上の余裕金を運用してはならない。

一 国債の保有

二 資金運用部への預託

2 公庫は、業務に係る現金を国庫以外に預託してはならない。

(資金の交付等)

第二十七條 公庫は、業務を行なうため必要があるときは、受託金融機関に対し、貸付けに必要な資金を交付することができる。

2 公庫は、業務を行なうため必要があるときは、政令で定めるところにより、業務に係る現金を郵便振替とし、又は銀行に預け入れることができる。

(会計帳簿)

第二十八條 公庫は、主務大臣の定めるところにより、業務の性質及び内容並びに業務の運営及び経理の状況を適切に示すため必要な帳簿を備えなければならない。

(会計検査院の検査)

第二十九條 会計検査院は、必要があると認めるときは、受託金融機関につき、当該委託業務に係る会計を検査することができる。

第五章 監督

(監督)

第三十條 公庫は、主務大臣が監督する。

2 主務大臣は、この法律を施行するため必要があると認めるときは、公庫に対して、業務に関する監督上必要な命令をすることができる。

(役員解任)

第三十一條 主務大臣は、公庫の役員が第十三条の規定により役員となることができない者に該当するに至つたときは、これを解任しなければならない。

2 主務大臣は、公庫の役員が次の各号のいずれかに該当するに至つたときは、これを解任することができる。

一 この法律又はこの法律に基づく命令に違反したとき。

二 刑事事件により有罪の判決の言渡しを受けたとき。

三 破産の宣告を受けたとき。

四 心身の故障により職務を執ることができないとき。

(報告及び検査)

第三十二條 主務大臣は、この法律を施行するため必要があると認めるときは、公庫若しくは受託金融機関に対して報告を求め、又はその職員に公庫若しくは受託金融機関の事務所に立ち入り、業務の状況若しくは帳簿、書類その他必要な物件を検査させることができる。ただし、受託金融機関に対しては、当該委託業務の範囲内に限る。

2 前項の規定により立入検査をする職員は、その身分を示す証明書を携帯し、関係人に提示しなければならない。

3 第一項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解してはならない。

第六章 補則

(国民金融公庫からの環境衛生関係営業者等に対する貸付けに係る権利義務の承継)

第三十三條 国民金融公庫が第十九条第一項各号に掲げる者に対して行つた貸付けに係る債権であつて、政令で定めるもの及びこれに附随する権利義務は、政令で定めるところにより、公庫が承継するものとする。

2 前項の規定により、公庫が債権及びこれに附随する権利義務を承継したときは、政府の国民金融公庫への貸付金のうち、政令で定めるものは、その承継の日において国民金融公庫から政府に返済されたものとし、当該返済されたものとされた金額に相当する金額が、その承継の日

において政府から公庫に対し貸し付けられたものとする。

(主務大臣)

第三十四條 この法律における主務大臣は、厚生大臣及び大蔵大臣とする。ただし、第三十二条第一項に規定する主務大臣の権限は、厚生大臣又は大蔵大臣がそれぞれ単独に行使することを妨げない。

第七章 罰則

第三十五條 第三十二条第一項の規定による報告を求められて報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による検査を拒み、妨げ、若しくは忌避した場合においては、その違反行為をした公庫の役員若しくは職員又は受託金融機関の役員若しくは職員を三万円以下の罰金に処する。

第三十六條 次の各号のいずれかに該当する場合においては、その違反行為をした公庫の役員を三万円以下の過料に処する。

一 この法律により主務大臣の認可又は承認を受けなければならない場合において、その認可又は承認を受けなかつたとき。

二 第六條第一項の規定による政令に違反して登記することを怠つたとき。

三 第十九條に規定する業務以外の業務を行なつたとき。

四 第二十六條第一項の規定に違反して業務上の余裕金を運用したとき。

五 第二十六條第二項の規定に違反して業務に係る現金を国庫以外に預託したとき。

六 第三十條第二項の規定による主務大臣の命令に違反したとき。

第三十七條 第七條の規定に違反して環境衛生金融公庫という名称を用いた者は、一万円以下の過料に処する。

附 則

(施行期日)

1 この法律は、公布の日から施行する。

(設立の手続)

2 主務大臣は、公庫の理事長又は監事となるべき者を指名する。

3 前項の規定により指名された理事長又は監事となるべき者は、公庫の成立の時に於いて、この法律の規定によりそれぞれ理事長又は監事に任命されたものとする。

4 主務大臣は、設立委員会を命じて、公庫の設立に関する事務を処理させる。

5 設立委員は、設立の準備を完了したときは、遅滞なく、政府に対して資本金の払込みの請求をしなければならない。

6 設立委員は、資本金の払込みがあつた日（資本金が分割して払い込まれる場合においては、第一回の払込みがあつた日）において、その事務を附則第二項の規定により指名された理事長となるべき者に引き継がなければならない。

7 附則第二項の規定により指名された理事長となるべき者は、前項の引継ぎを受けたときは、遅滞なく、政令で定めるところにより、設立の登記をしなければならない。

8 公庫は、前項の規定による設立の登記をすることによつて成立する。

9 公庫が成立したときは、主務大臣は、遅滞なく、その旨を官報で公示しなければならない。（経過規定）

10 この法律の施行の際現に環境衛生金融公庫という名称を用いている者については、第七条の規定は、この法律の施行後六月間は、適用しない。

11 環境衛生金融公庫は、第二十条第一項の規定にかかわらず、当分の間、国民金融公庫、中小企業金融公庫及び商工組合中央金庫に対し、政令で定めるところにより、貸付けに関する業務の全部を委託するものとし、国民金融公庫、中小企業金融公庫及び商工組合中央金庫は、これを受託するものとする。

12 国民金融公庫、中小企業金融公庫又は商工組合中央金庫は、当分の間、政令で定めるところにより、環境衛生金融公庫から委託を受けた業務に係る貸付けによつて生ずる債務の保証を行なうものとする。

13 国民金融公庫、中小企業金融公庫又は商工組合中央金庫が環境衛生金融公庫から委託を受けた業務は、当分の間、国民金融公庫法（昭和二十四年法律第四十九号）、中小企業金融公庫法（昭和二十八年法律第三十八号）又は商工組合中央金庫法（昭和十一年法律第十四号）の規定の適用については、それぞれ国民金融公庫法第十八条第一項、中小企業金融公庫法第十九条第一項又は商工組合中央金庫法第二十八条第一項に規定する業務とみなす。

14 第二十条第三項の規定は、当分の間、商工組合中央金庫が環境衛生金融公庫から委託を受けた業務をさらに他の金融機関に委託をした場合における当該委託を受けた金融機関の役員又は職員について準用する。

15 環境衛生金融公庫の設立の際現に国民金融公庫の職員として在職する者であつて、国家公務員共済組合法（昭和三十三年法律第二百二十八号）第二百二十四条の二第一項の復帰希望職員であるものが、環境衛生金融公庫の設立の日から第三十三条第一項の規定による権利義務の承継の日までの間に、引き続き環境衛生金融公庫の職員となつた場合には、その者を当該復帰希望職員とみなして国家公務員共済組合法第二百二十四条の二の規定を適用する。この場合において、同条第一項中「公庫等職員」として在職する間」とあるのは「環境衛生金融公庫の職員として在職する間」と、同条第二項中「公庫等職員」とあるのは「環境衛生金融公庫の職員」と、同条第四項中「公庫等」とあるのは「環境衛生金融公庫」と、当該復帰希望職員の転出の時にさかのぼつて」とあるのは「当該復帰希望職員が環境衛生金融公庫の職員となつた日から」と、同条第五項中「公庫等職員」とあるのは「環境衛生金融公庫の職員」と、「及び公庫等」とあるのは「並びに国民金融公庫及び環境衛生金融公庫」とする。

16 国家公務員等退職手当法（昭和二十八年法律

第百八十二号）第二条第二項に規定する職員であつて、国民金融公庫の職員となるため同法第七条の二第一項に規定する退職をし、かつ、引き続き国民金融公庫の職員として在職するものが、環境衛生金融公庫の設立の日から第三十三条第一項の規定による権利義務の承継の日までの間に、引き続き環境衛生金融公庫の職員となり、かつ、引き続き環境衛生金融公庫の職員として在職した後引き続き再び国家公務員等退職手当法第二条第二項に規定する職員となつた場合におけるその者の同法第七条第一項の規定による在職期間の計算及びその者が退職した場合におけるその者に対する同法第三条から第五条までの規定による退職手当の額については、同法第七条の二の規定を準用する。

17 所得税法（昭和四十年法律第三十三号）の一部を次のように改正する。
別表第一第一号の表中簡易保険郵便年金福祉事業団の項の次に次のように加える。
環境衛生金融公庫（昭和四十二年法律第

（法人税法の一部改正）
別表第一第一号の表中簡易保険郵便年金福祉事業団の項の次に次のように加える。
環境衛生金融公庫（昭和四十二年法律第

（印紙税法の一部改正）
印紙税法（昭和四十二年法律第

（登録免許税法の一部改正）
登録免許税法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

の次に次のように加える。
環境衛生金融公庫（昭和四十二年法律第

（地方税法の一部改正）
地方税法（昭和二十五年法律第二百二十六号）の一部を次のように改正する。
第七十二条の四第一項第二号中「医療金融公庫」の下に「環境衛生金融公庫」を加える。
（郵便振替法の一部改正）
郵便振替法（昭和二十三年法律第六十号）の一部を次のように改正する。
第六十三条の二中「若しくは中小企業金融公庫」を「中小企業金融公庫若しくは環境衛生金融公庫」に改める。
（国民金融公庫法の一部改正）
国民金融公庫法の一部を次のように改正する。
第十一条中「七人以上」を「六人以上」に改める。
（大蔵省設置法の一部改正）
大蔵省設置法（昭和二十四年法律第四百四十四号）の一部を次のように改正する。
第十二条第一項中第六号の六を第六号の七とし、第六号の五の次に次の一号を加える。
六の六 環境衛生金融公庫を監督すること。
（厚生省設置法の一部改正）
厚生省設置法（昭和二十四年法律第五百一十一号）の一部を次のように改正する。
第五十条第三十一号の二を第三十一号の三とし、第三十一号の次に次の一号を加える。
三十一の二 環境衛生金融公庫を監督すること。
第九条の二中第二号の次に次の一号を加える。
二の二 環境衛生金融公庫を監督すること。
（国等の債権債務等の金額の端数計算に関する法律の一部改正）
国等の債権債務等の金額の端数計算に関する法律（昭和二十五年法律第六十一号）の一部を次

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

（環境衛生金融公庫法の一部改正）
環境衛生金融公庫法（昭和四十二年法律第

のように改正する。

第一条第一項中「医療金融公庫」の下に「環境衛生金融公庫」を加える。

(公職選挙法の一部改正)

27 公職選挙法(昭和二十五年法律第百号)の一部を次のように改正する。

第百三十六条の二第二項第二号中「若しくは医療金融公庫」を「医療金融公庫若しくは環境衛生金融公庫」に改める。

(予算執行職員等の責任に関する法律の一部改正)

28 予算執行職員等の責任に関する法律(昭和二十五年法律第百七十二号)の一部を次のように改正する。

第九条第一項中「医療金融公庫」の下に「環境衛生金融公庫」を加える。

(中小企業信用保険法の一部改正)

29 中小企業信用保険法(昭和二十五年法律第二百六十四号)の一部を次のように改正する。

第三条第一項中「又は国民金融公庫」を「国民金融公庫又は環境衛生金融公庫」に改める。

30 公庫の予算及び決算に関する法律の一部を次のように改正する。

第一条中「及び医療金融公庫」を「医療金融公庫及び環境衛生金融公庫」に改める。

第五条第三項中「債務保証に係る弁済金(北海道東北開発公庫の場合に限る。)」を「債務保証に係る弁済金(国民金融公庫、中小企業金融公庫及び北海道東北開発公庫の場合に限る。)」に改める。

(地方財政再建促進特別措置法の一部改正)

31 地方財政再建促進特別措置法(昭和三十年法律第百九十五号)の一部を次のように改正する。

第二十四条第二項中「中小企業信用保険公庫」の下に「環境衛生金融公庫」を加える。

理由 国民の日常生活に密接な関係のある環境衛生関係

係の営業について、衛生水準を高め、及び近代化を促進するために、一般の金融機関が融通することを困難とする資金を融通することを目的とする特別の金融機関を設立する必要がある。これが、この法律案を提出する理由である。

○川野委員長 提案理由の説明を聴取いたしました。厚生大臣坊秀男君。

○坊秀男大臣 ただいま議題となりました精神薄弱者福祉法の一部を改正する法律案について、その要旨及び提案の理由を御説明申し上げます。

精神薄弱者の福祉対策の強化につきましては、政府においてはかねてから検討を進めてまいったのでありますが、とりあえず特に緊急を要する精神薄弱者に対する授産事業の強化等の対策を講ずるために、ここに、この法律案を提出した次第であります。

次に、本法案の内容についてその概略を御説明申し上げます。

改正の第一点は、公立の精神薄弱者援護施設の運営費は、措置者たる地方公共団体において支弁すべきこととするにより、その設置に伴う地方公共団体の財政負担の軽減をはかり、もって公立施設の普及を促進しようというものであります。

改正の第二点は、精神薄弱者援護施設を分けて、精神薄弱者更生施設及び精神薄弱者授産施設の二種類とし、これによって精神薄弱者援護施設における授産事業等の実施の根拠を明らかにしようという点であります。

改正の第三点は、児童のうち十五歳以上の者について、その社会復帰をすみやかならしめるため、必要があるときは精神薄弱者援護施設に入所させることとする点であります。

以上が、この法律案を提案いたしました理由及びその内容の概略であります。何とぞ慎重に御審議の上、すみやかに御可決あらんことをお願いする次第でございます。

次に、ただいま議題となりました身体障害者福祉法の一部を改正する法律案の提案理由を御説明申し上げますが、その内容はお手元に御配付申し上げたとおりでございます。何とぞ慎重御審議の上、御可決あらんことをお願い申し上げます。

次に、ただいま議題となりました環境衛生金融公庫法案の提案の理由を御説明申し上げますが、お手元に差し上げましたとおりでございます。何とぞ慎重御審議の上、御可決あらんことをお願い申し上げます。

○川野委員長 精神薄弱者福祉法の一部を改正する法律案については、質疑の申し出もありません。

○川野委員長 次に、本案を討論に付するのであります。別に討論の申し出もありませんので、直ちに採決に入ります。

精神薄弱者福祉法の一部を改正する法律案について採決いたします。

本案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○川野委員長 次に、身体障害者福祉法の一部を改正する法律案については、質疑の申し出もありません。

○川野委員長 ただいま委員長の手元に、世耕政隆君、田邊誠君、田畑金光君及び大橋敏雄君より、身体障害者福祉法の一部を改正する法律案に対する修正案が提出されております。

身体障害者福祉法の一部を改正する法律案に対する修正案

身体障害者福祉法の一部を改正する法律案の一部を次のように修正する。

附則第一項中「昭和四十二年七月一日」を「公布の日」に改める。

○川野委員長 修正案の趣旨の説明を聴取いたします。世耕政隆君。

○世耕政隆君 私は、ただいま議題となっております身体障害者福祉法の一部を改正する法律案に対する自由民主党、日本社会党、民主社会党及び公明党、四派共同提案にかかる修正案につきまして、その提案の理由を御説明申し上げます。

お手元に修正案が配付してありますので、朗読は省略いたしますが、要旨は、施行期日を改めようとするものであります。

何とぞ御賛同をお願いいたします。

○川野委員長 修正案について発言はありませんか。

〔なしと呼ぶ者あり〕

○川野委員長 発言がなければ、これより本案及びこれに対する修正案を一括して討論に付するのであります。別に討論の申し出もありませんので、直ちに採決いたします。

まず、修正案について採決いたします。

本修正案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、本修正案は可決いたしました。

次に、ただいまの修正部分を除く原案について採決いたします。

これに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、本案は修正議

決すべきものと決しました。

○川野委員長 次に、社会福祉事業振興会法の一部を改正する法律案を議題とし、審査を進めます。本案に対する質疑の申し出はありません。

○川野委員長 次に、本案を討論に付するのであります。別に討論の申し出もありませんので、直ちに採決に入ります。

社会福祉事業振興会法の一部を改正する法律案について採決いたします。

本案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○川野委員長 この際、世耕政隆君、田邊誠君、田畑金光君及び大橋敏雄君より、本案に対し附帯決議を付すべしとの動議が提出されております。

その趣旨の説明を求めます。田邊誠君。

○田邊委員 ただいまの同案に対する附帯決議案は、各委員に配付をしたとおりであります。

〔参照〕

社会福祉事業振興会法の一部を改正する法律案に対する附帯決議

政府は、社会福祉事業の現状にかんがみ、左記事項の実現につき努力すること。

一、社会福祉施設の不足を解消するため、要収容者(一)の実態を把握し、施設の計画的な整備をはかること。

二、増大する資金需要に対応し、社会福祉事業振興会の貸付原資の大幅な増加をはかること。

と。

三、家族構成の変化、共稼ぎ世帯の増加等に対し、処し、保育所の設置については政府の財政的援助をさらに強化すること。

四、社会福祉事業法を再検討し、時代の要請と情勢の推移に即応した内容の整備充実をはかること。

○川野委員長 本動議について採決いたします。本動議のごとく決するに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、さよう決しました。

○川野委員長 次に、内閣提出の雇用促進事業団法の一部を改正する法律案を議題とし、審査を進めます。

雇用促進事業団法の一部を改正する法律案

附 則
(参議院送付案中同院修正に係る条文)を掲ぐ。小字及び「」は修正)

この法律は、昭和四十二年六月一日から施行する。

公布の日

○川野委員長 本案につきましては、去る六月六日、労働大臣より提案理由の説明を聴取いたしておりますが、本案は参議院において去る六月二十九日修正され、三十日本院に送付されました。

なお、念のため、便宜委員長より参議院においての修正について申し上げますと、その修正箇所は、附則に、「この法律は、昭和四十二年六月一日から施行する。」とあるのを、公布の日から施行することに改めるものでございます。

本案に対する質疑の申し出はありません。

○川野委員長 次に、本案を討論に付するのであります。別に討論の申し出もありませんので、直ちに採決に入ります。

雇用促進事業団法の一部を改正する法律案について採決いたします。

本案に賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○川野委員長 環境衛生金融公庫法案を議題といたします。質疑の申し出がありません。

○川野委員長 ただいま委員長の手元に、世耕政隆君、田邊誠君及び田畑金光君より、環境衛生金融公庫法案に対する修正案が提出されております。

環境衛生金融公庫法案に対する修正案
環境衛生金融公庫法案の一部を次のように修正する。

附則第十一項を次のように改める。

11 第二十條第一項中「業務の一部」とあるのは、当分の間、「業務の全部又は一部」とする。

附則第十二項中「当分の間、政令で定めるところにより、環境衛生金融公庫から」を第二十條第一項の規定により「環境衛生金融公庫から業務の委託を受けたときは、当分の間、政令で定めるところにより、当該に、「行なうものとする」を行なうことができる」に改める。

附則第十三項中「環境衛生金融公庫から」を「第二十條第一項の規定により環境衛生金融公庫から業務の委託を受けたときは、当該に、「行なうものとする」を行なうことができる」に改める。

業務の委託を受けたときは、当該に改める。

附則第十四項中「第二十條第三項の規定は、当分の間、商工組合中央金庫が環境衛生金融公庫から委託を受けた業務をさらに他の金融機関に委託をした場合における」を「商工組合中央金庫が、第二十條第一項の規定により環境衛生金融公庫から業務の委託を受けた場合において、当該委託を受けた業務をさらに他の金融機関に委託したときは、同条第三項の規定は、当分の間、」に改める。

○川野委員長 修正案の趣旨の説明を聴取いたします。世耕政隆君。

○世耕委員 私は、ただいま議題となつております環境衛生金融公庫法案に対する自由民主党、日本社会党、民主社会党の三党共同提案にかかる修正案につきまして、その提案の理由を御説明申し上げます。

お手元に修正案が配付してありますので、朗読は省略いたします。

原案では、環境衛生金融公庫は業務の全部を国民金融公庫、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫の三機関に委託することになっているのを、これをすべての金融機関に業務の全部または一部を委託することができるようにすることであり、何とぞ御賛同のほどをお願いいたします。(拍手)

○川野委員長 修正案について発言はありませんか。

○川野委員長 発言がなければ、これより本案及びこれに対する修正案を一括して討論に付するのであります。別に討論の申し出もありませんので、直ちに採決いたします。

まず、修正案について採決いたします。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立多数。よって、本修正案は可決いたしました。

次に、ただいまの修正部分を除く原案について採決いたします。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立多数。よって、本案は修正議決すべきものと決しました。

○川野委員長

この際、世耕政隆君、田邊誠君及び田畑金光君より、本案に対し附帯決議を付すべしとの動議が提出されております。

その趣旨の説明を求めます。田邊誠君。

○田邊委員 ただいまの同案に対する附帯決議案を提案いたします。

内容は、各委員に配付をした別紙のとおりであります。御賛同をお願いいたします。(拍手)

〔参照〕

環境衛生金融公庫法案に対する附帯決議
一、対象業種を更に、生鮮野菜、魚介類及び米穀販売業及び酒類小売業並びに食品製造販売業に拡大すること。
二、大衆的でない事業に対しては貸付を規制すること。
三、環衛業に対する融資を一元化すること。
四、金利の引下げ、貸付枠の拡大、償還期限の延長、近代化、衛生措置に必要な低金利対象施設、設備の範囲の拡大を図ること。
五、国民金融公庫に委託する場合は、貸付限度額を現行より引上げること。

○川野委員長 本動議について採決いたします。本動議のごとく決するに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立多数。よって、さよう決しました。

○川野委員長 次に、内閣提出の炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法案を議題とし、審査を進めます。

炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法案
(小字及び一は参議院修正)

炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関する特別措置法
(目的)

第一条 この法律は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に関し、一酸化炭素中毒症にかつた労働者に対して特別の保護措置を講ずること等により、労働者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

〔定義〕

第二条 この法律において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

一 炭鉱災害 石炭鉱業を行なう事業場におけるガス又は炭じんの爆発その他労働者令で定める災害をいう。

二 一酸化炭素中毒症 一酸化炭素による中毒及びその続発症をいう。

三 使用者 労働基準法(昭和二十二年法律第四十九号)第十条に規定する使用者をいう。

四 労働者 労働基準法第九条に規定する労働者をいう。

(使用者及び労働者の義務)

第三条 使用者及び労働者は、労働基準法及び鉱山保安法(昭和二十四年法律第七十号)の規定によるほか、炭鉱災害により一酸化炭素が発生した場合における一酸化炭素中毒症の防止

について適切な措置を講ずるよう努めなければならない。

〔差別的取扱の禁止〕

第四条 使用者は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症にかつた労働者の労働条件について、その者が当該一酸化炭素中毒症にかつた者であることを理由として一切の差別的取扱いをしてはならない。

(健康診断)

第五条 使用者は、炭鉱災害により一酸化炭素が発生した際業務上の必要によりその発生に係る場所において、又はその直後業務上の必要により当該場所に入り込んだ労働者(以下「被災労働者」という。)に対し、遅滞なく、労働者令で定めるところにより、一酸化炭素中毒症に関する健康診断を行なわなければならない。

○使用者

2 ○被災労働者を当該炭鉱災害が起つた時から引き続き使用する使用者は、当該被災労働者(当該炭鉱災害による一酸化炭素中毒症にかつた現に労働者災害補償保険法(昭和二十二年法律第五十号)の規定による療養補償給付若しくは長期傷病補償給付又は労働基準法の規定による療養補償を受けている被災労働者及び第六條に規定する被災労働者を除く。)に対し、当該炭鉱災害が起つた日から起算して二年を経過するまでの間(当該炭鉱災害による一酸化炭素中毒症にかつたと認められた被災労働者については、当該一酸化炭素中毒症がなおつたと認められた日から起算して二年を経過するまでの間、労働者令で定めるところにより、定期に、一酸化炭素中毒症に関する健康診断を行なわなければならない。

3 被災労働者は、正当な理由がある場合を除き、前二項の規定により使用者が行なう健康診断を受けなければならない。ただし、使用者が指定した医師の行なう健康診断を受けることを希望しない場合において、他の○医師の行なう前二項の規定による健康診断に相当する健康診断を受け、その結果を証明する書面その他労働者令で定める物件を使用者に提出したときは、この限りでない。

○使用者

4 使用者は、労働者令で定めるところにより、第一項及び第二項の規定による健康診断並びに前項ただし書に規定する健康診断に関する記録を作成し、これを五年間保存しなければならない。

5 使用者は、第一項又は第二項の規定により健康診断を行なつた場合においては、その限度において、労働基準法第五十二条第一項の規定による健康診断を行なわなくてもよい。被災労働者が第三項ただし書に規定する健康診断を受けた場合においても、同様とする。

6 使用者は、前条第一項若しくは第二項の規定による健康診断又は同条第三項ただし書に規定する健康診断の結果に基づき、被災労働者に関し、危害防止又は健康保持のため必要があるときは、当該被災労働者の実情を考慮し、就業場所の変更、作業の転換、労働時間の短縮その他の適切な措置を講じなければならない。第九條に規定する被災労働者に関し、危害防止又は健康保持のため必要があるときは、同様とする。

7 使用者は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症にかつた被災労働者であつて労働者災害補償保険法の規定による長期傷病補償給付を受けるに至つたものが、その受けるに至つた時において、住宅その他の福利厚生に関する施設であつて労働者令で定めるもの(以下「福利厚生施設」という。)の供与を引き続き受けることを希望したときは、労働者令で定める期間、当該福利厚生施設を供与しなければならない。

8 使用者は、前項の規定による福利厚生施設の供与については、当該被災労働者が使用されていた事業場に使用される労働者に対する福利厚生施設の供与との均衡を失わないようにしなければならない。

(介護料の支給)

第五條 政府は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症について労働者災害補償保険法の規定による療養補償給付又は長期傷病補償給付を受けている被災労働者であつて、常時介護を必要とするものに対し、労働者令で定めるところにより、介護料を支給する。

断を受け、その結果を証明する書面その他労働者令で定める物件を使用者に提出したときは、この限りでない。

○使用者

4 使用者は、労働者令で定めるところにより、第一項及び第二項の規定による健康診断並びに前項ただし書に規定する健康診断に関する記録を作成し、これを五年間保存しなければならない。

○使用者

5 使用者は、第一項又は第二項の規定により健康診断を行なつた場合においては、その限度において、労働基準法第五十二条第一項の規定による健康診断を行なわなくてもよい。被災労働者が第三項ただし書に規定する健康診断を受けた場合においても、同様とする。

6 使用者は、前条第一項若しくは第二項の規定による健康診断又は同条第三項ただし書に規定する健康診断の結果に基づき、被災労働者に関し、危害防止又は健康保持のため必要があるときは、当該被災労働者の実情を考慮し、就業場所の変更、作業の転換、労働時間の短縮その他の適切な措置を講じなければならない。第九條に規定する被災労働者に関し、危害防止又は健康保持のため必要があるときは、同様とする。

7 使用者は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症にかつた被災労働者であつて労働者災害補償保険法の規定による長期傷病補償給付を受けるに至つたものが、その受けるに至つた時において、住宅その他の福利厚生に関する施設であつて労働者令で定めるもの(以下「福利厚生施設」という。)の供与を引き続き受けることを希望したときは、労働者令で定める期間、当該福利厚生施設を供与しなければならない。

8 使用者は、前項の規定による福利厚生施設の供与については、当該被災労働者が使用されていた事業場に使用される労働者に対する福利厚生施設の供与との均衡を失わないようにしなければならない。

(介護料の支給)

第五條 政府は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症について労働者災害補償保険法の規定による療養補償給付又は長期傷病補償給付を受けている被災労働者であつて、常時介護を必要とするものに対し、労働者令で定めるところにより、介護料を支給する。

○使用者

2 介護料は、介護に要する費用を考慮して労働

大臣が定める金額とする。

(診察等の措置)

第六條 政府は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症について労働者災害補償保険法の規定による療養補償給付又は長期傷病補償給付を受けていた被災労働者であつて、当該一酸化炭素中毒症がなおつたものに對し、必要があると認めるときは、労働省令で定めるところにより、診察その他労働省令で定める措置を行なう。

(労働者災害補償保険法との関係)

第七條 第五條第一項の規定による介護料の支給及び前條の規定による診察等の措置は、労働者災害補償保険法第二十三條第一項の保険施設とする。

2 第五條第一項の規定による介護料の支給及び前條の規定による診察等の措置に要する費用の額は、労働者災害補償保険法第二十七條の規定の適用については、同條に規定する保険給付の額とみなす。

(リハビリテーション施設の整備)

第十一條 政府は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症にかつた被災労働者のためのリハビリテーション施設の整備に努めなければならない。

(労働基準監督署長及び労働基準監督官)

第十八條 労働基準監督署長及び労働基準監督官は、労働省令で定めるところにより、この法律の施行に關する事務をつかさどる。

(労働基準監督官の権限)

第十九條 労働基準監督官は、この法律の規定を実施するために必要な限度において、事業場に立ち入り、帳簿、書類その他の物件を検査し、又は関係者に質問をすることができ、

2 前項の規定により立入検査をする労働基準監督官は、その身分を示す証書を携帯し、関係者に提示しなければならない。

3 第一項の規定による立入検査の権限は、犯罪捜査のために認められたものと解釈してはならない。

第十條 労働基準監督官は、この法律の規定に

違反する罪について、刑事訴訟法(昭和二十三年法律第三十一号)の規定による司法警察員の職務を行なう。

(報告)

第十一條 都道府県労働基準局長及び労働基準監督署長は、この法律の規定を実施するために必要な限度において、労働省令で定めるところにより、使用者及び労働者に対し、労働省令で定める事項の報告を命ずることができ、

(罰則)

第十二條 次の各号のいずれかに該当する者は、五千円以下の罰金に処する。

一 第四條第一項、第二項又は第四項の規定に違反した者

二 第九條第一項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、又は同項の規定による質問に對して答弁をせず、若しくは虚偽の答弁をした者

三 前條の規定による報告を命ぜられて報告をせず、又は虚偽の報告をした者

2 法人の代表者又は法人若しくは人の代理人、使用人その他の従業者が、その法人又は人の業務に關し、前項の違反行為をしたときは、行為者を罰するほか、その法人又は人に対しても、同項の刑を科する。

附則

(施行期日)

1 この法律は、公布の日から起算して九十日をこえない範囲内において政令で定める日から施行する。

2 労働省設置法(昭和二十四年法律第六十二号)の一部を次のように改正する。

第四條第三十二号の九を第三十二号の十とし、第三十二号の八の次に次の一号を加える。

三十二の九 炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に關する特別措置法(昭和四十二年法律

第 号)に基づいて、使用者又は労働者に必要な事項についての報告を求めること。

第八條の二第六号中「(労働基準監督官の権限の行使に關する部分を除く。)」の下に、並びに炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に關する特別措置法(同法)第五條第一項及び第六條の規定による介護料の支給及び診察等の措置に關する部分並びに労働基準監督官の権限の行使に關する部分を除く。を加える。

第十三條第一項の表中央労働基準審議会の項中「並びに労働災害防止団体等」に關する法律に基づきその権限に屬する事項を、労働災害防止団体等に關する法律に基づきその権限に屬する事項並びに炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に關する特別措置法の施行に關する重要事項に改める。

第十五條第一項及び第十七條第一項中「及び労働災害防止団体等」に關する法律(これに基づく命令を含む。を、労働災害防止団体等に關する法律(これに基づく命令を含む。及び炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に關する特別措置法(これに基づく命令を含む。))に改める。

○川野委員長 提案理由の説明を聴取いたしました。早川労働大臣。

○早川國務大臣 ただいま議題となりました炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に關する特別措置法案につきまして、その提案理由及び内容の概略を御説明申し上げます。

炭鉱災害による一酸化炭素中毒症につきましては、昭和三十八年の三井三池の災害をはじめ、大規模な炭鉱災害が頻発し、これにより重篤かつ多数の一酸化炭素中毒患者の発生を見ており、昨年の通常国会におきましては、参議院社会労働委員会におきまして、政府は一酸化炭素中毒被災者援

護措置について、さしあたり炭鉱労働者に限り、今後一カ年以内に立法措置を講ずるよう努力すべき旨の決議が行なわれたのであります。

政府といたしましては、かかる経過等にかんがみ、ここに、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に關する特別措置法案を提出いたしました次第であります。

次に、この法律案の内容につきまして、その概略を御説明申し上げます。

第一に、この法律の適用範囲につきましては、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に限定したことであります。

第二に、使用者と労働者に対し、一酸化炭素中毒症の防止について適切な措置を講ずべき旨の努力義務を課することとしたことであります。

第三は、使用者に対し、事故の発生直後の健康診断を義務づけ、さらに二年間、定期的に特別の健康診断を実施すべきこととしております。

第四に、一酸化炭素中毒症にかつた者に対し、その実情に応じて介護料を支給することとしたのであります。

最後に、一酸化炭素中毒症がなおつた者についても、アフターケアとして所要の措置を講ずることとしたのであります。

以上、この法律案の提案理由及びその概要について御説明申し上げます。

何とぞ慎重御審議の上、すみやかに御可決あらんことをお願い申し上げます。(拍手)

○川野委員長 なお、本案は参議院の修正を経た議案でありますので、その修正の趣旨について説明を求めます。参議院社会労働委員長代理、理事藤田藤太郎君。

○藤田(藤)参議院議員 私は、炭鉱災害による一酸化炭素中毒症に關する特別措置法案に対する参議院の修正について、その趣旨を説明いたします。

修正は四点にわたっております。内容については、配付したとおりでございます。

何とぞ慎重御審議の上、よろしくお願いいたします。

ます。(拍手)

○川野委員長 本案に関する質疑の申し出はあります。御承知のとおり、また、先刻理事各位とも協議いたしましたので、その結果に基づき直ちに採否の決定に入りたいと存じますが、御異議ありませんか。

○川野委員長 次に、本案を討論に付するのであります。別に討論の申し出もありませんので、直ちに採決いたします。

○川野委員長 御異議なしと認め、さよう決しました。

〔賛成者起立〕

○川野委員長 起立総員。よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決しました。

○川野委員長 この際、坊厚生大臣より発言を求められておりますので、これを許します。坊厚生大臣。

○坊厚生大臣 ただいま決議されました各附帯決議につきましては、御趣旨を尊重いたしまして、今後政府におきまして十分努力をいたしたいと考えております。

○川野委員長 ただいま議決いたしました各案に関する委員会報告書の作成につきましては委員長に御一任願いたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○川野委員長 御異議なしと認め、さよう決しました。

〔報告書は附録に掲載〕

○川野委員長 次に、本日公報に掲載いたしました請願千二百八十七件を一括して議題とし、審査に入ります。

まず、請願の審査方法についておはかりいたします。

ます。

その趣旨につきましてはすでに文書表によって御承知のところであり、また、先刻理事各位とも協議いたしましたので、その結果に基づき直ちに採否の決定に入りたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○川野委員長 御異議なしと認め、さよう決しました。

それでは、本日の請願日程中、第一ないし第七、第九ないし第二〇、第二五ないし第四二、第五二ないし第九六、第九九、第一一ないし第一四六、第一四九ないし第二二六、第二三一、第二三三ないし第二三五、第二三八ないし第二六六、第二七一ないし第二七六、第二八二ないし第二八九、第二九七ないし第三一五、第三一九ないし第三三五、第三四九ないし第三六〇、第四〇七ないし第四〇九、第四一ないし第四二一、第四二四、第四三九ないし第四四二、第四四六ないし第四四九、第四七三、第四七四、第四九〇ないし第五〇三、第五〇七ないし第五一〇、第五一四ないし第五二一、第六一五、第六一六、第六二八、第六三〇ないし第六三二、第六五九、第六六一、第六六二、第六九二、第六九三、第七三八ないし第七四一、第七五〇、第七五一、第七五三、第七五五、第七七七、第八三一ないし第八四四、第八六三ないし第八六七、第九三一、第九三二、第九三六ないし第九四一、第九七五、第九九三、第九九五、第一〇二七ないし第一〇三四、第一〇八七ないし第一〇八九、第一一一六、第一一二三ないし第一二二五、第一二二八ないし第一二三四、第一二二〇ないし第一二三三、第一二四四、第一二四五、第一二八三、第一二八四及び第一二八七、以上の各請願は、いずれも採択の上内閣に送付すべきものと決するに御異議ありませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○川野委員長 御異議なしと認め、さよう決しました。

なお、ただいま議決いたしました各請願に関する

る委員会報告書の作成等につきましては委員長に御一任願いたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○川野委員長 御異議なしと認め、さよう決しました。

〔報告書は附録に掲載〕

○川野委員長 なお、本委員会に参考のため送付せられました陳情書は、日雇労働者健康保険制度改善に関する陳情書外九十六件であります。以上、念のため御報告いたします。

○川野委員長 この際、閉会中審査申し出の件につきましておはかりいたします。

本委員会といたしましては、閉会中もなお審査をするため

清掃施設整備緊急措置法案

医師法の一部を改正する法律案

内閣提出の失業保険法及び労働者災害補償保険法の一部を改正する法律案

最低賃金法の一部を改正する法律案

大原亨君外四十一名提出の戦傷病者戦没者遺族等援護法の一部を改正する法律案

山田壯目君外四十一名提出の原子爆弾被爆者の医療等に関する法律の一部を改正する法律案

山花秀雄君外十二名提出の駐留軍労働者の雇用の安定に関する法律案

河野正君外十一名提出の国有林労働者の雇用の安定に関する法律案

多賀谷貞雄君外十二名提出の最低賃金法案

同じく家内労働法案

田畑金光君外二名提出の電気事業及び石炭鉱業における争議行為の方法の規制に関する法律を

廃止する法律案

厚生関係及び労働関係の基本施策に関する件
社会保障制度、医療公衆衛生、社会福祉及び人口問題に関する件

労使関係、労働基準及び雇用・失業対策に関する件

につきまして、議長に閉会中審査の申し出をいたしたいと存じますが、御異議ございませんか。

〔異議なしと呼ぶ者あり〕

○川野委員長 御異議なしと認め、さよう決しました。

次に、委員派遣の件についておはかりいたします。

閉会中審査案件が付託になり、委員派遣を行なう必要が生じた場合には、承認申請等に関しましてはあらかじめ委員長に御一任願いたいと存じますが、御異議ございませんか。

○川野委員長 御異議なしと認め、さよう決しました。

暫時休憩いたします。

午後十時四十分休憩

〔休憩後は会議を開くに至らなかった〕

社会労働委員会議録第二十三号中正誤

ベ 段行 誤 正

三 四 二五秒 三十五秒

同 第二十五号中正誤

ベ 段行 誤 正

三 二末 西原及び 西原局長及び

七 一 二 ございます。 ございます。

ういう とういう

同 第二十六号中正誤

ベ 段行 誤 正

一 四末 制限報酬 制限診療

八 三 五 粒類 顆粒

八 三 七 シメロス シロメス

六 四 元 ついいてく ついていく

同 第二十七号中正誤

ベ 段行 誤 正

八 一末 フアッション フアッショ

九 二 三 思います。とい 思いますとい

うのは うのは

九 二末 保険審議の 保険審議会の

同 第二十八号中正誤

ベ 段行 誤 正

六 四 六 もらえない もらえる

七 二末 ことができました ができました

三 二 〇 あめ玉 あめ玉

同 第二十九号中正誤

ベ 段行 誤 正

五 一 二 意思がない 意思がない

昭和四十二年八月一日印刷

昭和四十二年八月二日発行

衆議院事務局

印刷者 大蔵省印刷局